夕刊 滿洲日報 七月一日

田中首相あす參內して 愈よ總辭職を奏請
けふ最後の閣議を開會して 全員の辭表を纏む

【東京特電一日發】田中內閣は豫定の如く一日午前十時から永田町首相官邸に最後の閣議を開き首相以下全閣員參集し田中首相から閣員に對し、かねて內示の通り此際潔く總辭職をなすといふ決意を告げ全閣員の辭表を取り纏め、二日午前九時半から十時までの間に宮中の御都合を奉伺して首相參內、總辭職を奏請する事に決定し、次で勅選議員の補充其他殘務を協議した

中間內閣運動で 民政黨內閣を阻止
政新兩黨を足場として
研究會舊幹部派が必死となる

【東京一日發電】一日午前園公を訪問した小笠原長幹伯は民政黨內閣出現を阻止して之に代ふるに政新兩黨を足場にせる非民政黨內閣の設立を勸說し園公の意を動かして是き邊より後繼內閣御下問の場合に備へんとした、小笠原伯青木信光子などの研究會舊幹部派は此の際必死運動を試みて床次氏を死地より救助せんことを企て先づ其のプログラムとして政友、薩派と床次、田中兩氏の會見行はれ兩派に渡りを附けたのであるが三十日提携の成立したのも亦非民政黨內閣出現の準備であつた、斯くの如く中間內閣運動は漸く表面的となり內閣首班者に付ては平沼、齋藤、宇垣、床次氏等あるも內、中關係より平沼說が有力なる模樣定し得られないのみならず、中間內閣成立の場合には政、民兩派に一大分解作用の行はるゝことは必然で積年に亙る黨弊政治の革新も期し得られ其の持續も必ずしも不可能でないと云ふにあり、既に其の意向は近衞公に依り西園寺公に通じられ、又最近では安樂兼道氏に依り牧野內府にも通じられてゐると云はれ、之がため研究會の舊幹部筋では民政黨に大命降ると信じ兼ねるとの意向なかく多い更に一部では平沼說の筋書として宇垣氏を引入れ平沼、宇垣兩氏の聯立內閣たらしめ場合に依り第三黨樹立も困難ならずとし床次氏に對し政、新合同には自重的態度を極力慫慂し

中間內閣擁立は 政界革新のため

【東京一日發電】非民政黨內閣擁立運動の論據とするところは今回の政變が反對黨の不信任案に依つて惹起されたものでないから直に反對黨に國民の信任ありとは斷じたとも傳へられてゐる

中間內閣說を警戒し 組閣の準備を進む
大命の降下疑ひなしとして
民政黨頻に策謀

【東京特電一日發】民政黨は中間內閣說の擡頭に對して大に警戒する一方現內閣が總辭職をなすに當り七月一日に當然辭表を捧呈すべきに拘らず二日となしその間一日の餘裕を置きたるは自黨の組閣妨害運動に便ならしむるためなりとし安達氏が主として情報蒐集の衝に當り對策を講ずると共に憲政常道論によつて當然民政黨が次の政權を把握すべきことを宣傳するに努めた結果昨今の情勢で大命が自黨に降下するを疑ひなしとして着々組閣準備を進めてゐる

貴族院入閣者の 割當に腐心
濱口總裁組閣前の惱み

【東京特電一日發】民政黨が組閣に當つて最も惱みつゝあるは貴族院からの入閣者を如何にするかといふ點である、民政黨には舊官僚の闘士が貴族院に數多く之に對して相當の論功行賞をせねばならぬのであるがさりとて此等の人々を入閣せしめては衆議院側の領袖に對する割當が減少することゝなり濱口總裁は此の點に腐心しつゝあるもの如くである、即ち貴族院からの潮恵之輔男、伊澤多喜男、湯淺倉平、渡邊千冬子等の功勞者に對しても黨內は特殊關係であるから別問題としても伊澤多喜男、湯淺倉平、渡邊千冬子等の功勞者に對しても黨內は之を除外しやうとしてゐるので此等の人々は多分植民地長官となるであらう

宇垣大將は 陸相拒絕
畑中將を推薦せん

【東京一日發電】新內閣が民政黨に依り組織される場合宇垣一成大將再び陸軍大臣たるは各方面一致の豫想であるが、宇垣大將は濱口民政黨總裁より陸相の交涉を受けても之を容れず他の人を推薦するであらうと見られる、而して大將からの推薦者は阿部信行

確定的顏觸れ
若槻氏は入閣せぬ

【東京特電一日發】民政黨內閣出現の場合の顏觸れの中、殆ど確定的と目さるゝは

內務	安達謙藏
外務	幣原喜重郎男
大藏	町田忠治
拓務	江木翼
鐵道	小橋一太
遞信	俵孫一

であつて若槻氏は入閣せぬことゝなり陸軍は宇垣大將說あるも未定、海軍は財部、安保兩氏の中、其他の閣員には片岡直溫、田中隆三、松田源治、原脩次郎、降旗元太郎、伊澤多喜男等の人々が擬せられてゐる

意中の候補は教育總監武藤信義大將及び關東軍司令官たるべき畑英太郎中將が數へられ居るが武藤大將は明春鈴木莊六大將の豫備役編入と共に參謀總長に內定の爲め結局畑中將を推薦するものと見られ軍派の樹立する軍事參議官田中國重大將說もある

民政黨內閣にも 期待は持たれぬ
國民政府某院長の談

【南京三十日發電】田中內閣總辭職に關し國民政府五院々長中の第一人者たる某氏は語る

田中內閣が滿洲問題で崩潰するは意外だ、後繼內閣は多分民政黨に行くであらうが素より對支政策に激變なかるべきは國とは依然相容れず大得權の絕對擁護に力を入れて裁の聲明に見て民政黨も總く濟南事件を起したりは持たれぬ、然し田中天に派して張學良氏にむるやうな對支內政干渉であらう、其の點は利我等は如何なる內閣が希望は只一點である、宇成、國家統一の途にを眞に理解し對策を樹てたいのである

民政內閣の 諸政策
財界安定策が中心

【東京一日發電】民政黨內閣成立すれば在野時代國民に約束せると共に大體左の政策を揭げるものと見られてゐる

一、金解禁斷行
二、國債整理
三、金融制度の改善
四、行政財政整理
五、稅制整理
六、關稅政策
七、社會政策の實行、特に勞働組合法制定、失業者救濟
八、農村政策、特に米價調節、自作農維持創定
九、義務教育費、教員俸給費全額國庫負擔
一〇、檢察制度の改善
一一、電力統制

右諸政策中特に財界安定策を中心に對支外交政策改善、綱紀肅正に力を注ぐ筈である

滿洲事件責任者 處分正式に發表

【東京一日發電】滿洲事件の責任者水町少將、齋藤中將の重謹愼處分は正式に發表されることゝなつた

村岡中將は 豫備役に
河本前參謀は 停職

【東京一日發電】本日左の如く正式に發表された

關東軍司令官 陸軍中將 村岡長太郎
依願豫備役被仰付
步兵大佐 河本大作
命停職

補關東軍司令官 功五級 畑英太郎

軍司令官の 親補式
けふ擧行さる

【東京一日發電】田中首相は一日午前九時半宮中に參內天皇陛下に拜謁仰付られ左の通り親補式が行はせられた

陸軍中將正四位勳二等 功三級 眞崎甚三郎
補第一師團長
陸軍中將從四位勳二等 功五級 三好一
補第八師團長

床次氏 首相を訪問
答禮の意味で

【東京特電三十日發】床次竹二郎氏は一日午後答禮の意味で田中首相を訪ひ政、新提携につき懇談を重ねる筈である

白川陸相は 參議官に

【東京一日發電】皇姑屯事件につき村岡關東軍司令官が責任を重んじて依願豫備役となることゝなつた爲め白川陸相も內閣辭職聽許後村岡中將と同樣の責任感から自ら豫備役編入を願ひ出るに非ずやとの說もあるが結局左の如く軍事參議官となり暫く現役に止まり機會を見て豫備役編入と見られてゐる

補軍事參議官 陸軍大將 白川義則

勅選議員 補充決定す

【東京一日發電】一日の臨時閣議で左の四氏を勅選議員の補充として任命奏請に決定した

鐵道次官	八田嘉明
警視總監	長岡隆一郎
遞信次官	桑山鐵男
實業家	磯村豐太郎

荻川放談 (63)
條約改訂（其三）

國民政府は革命支那を統一したが、統一は其外形に過ぎない、內容となると、國民黨の專斷、否國民黨の專斷と云ふよりも國民黨內蔣介石派の專斷であつて此點は革命以前の淸朝政治と何ら差異がないと評せられ、殊に其專斷は武力を背景とするがゆえに、統一國民政府成立直前の軍閥跋扈と寧ろ相違なしと觀られる、それで黨內各派は無論のこと赤國民の間には軍閥拔扈時代に等しく國民黨から拘束されざる國民大會開催が提唱さるゝに至つた。

◇

一たび革命支那を統一した國民政府が、易く潰れはすまい、併し現在其牛耳を採りある、蔣介石派の運命は危ふきものので、該一派が必ずしも支那革命の大勢を支配して居らぬとすれば、何時かは蔣介石に代つて國民政府の實權を握り、眞に支那革命を完成せんとするものが現はるゝかも知れない、而も此豫期の出現が餘り遠からぬではないかとも察せらる、それは今日に至るまで絕對に國民政府へ服從を誓ひし東北四省さへ、どうやら以前の保境安民に還る傾向にあり之に加へて閻錫山と馮玉祥の反蔣提攜は愈々鞏固の度を增し其下野は蔣介石に有利と思はれぬ節あり、此難局に處して國民黨左派は顧みれば、必ずしも蔣派の味方ではない。

◇

蔣派やこゝちよつと行き詰つた態であるが、さて蔣派の國民政府は、其成立以來國內に對する權威を保つうえに、多く外國を利用した、利用したとはそれを自己に引き付けたことで、之は聯儀に成功なり、日本の如きは聯か此大勢に引摺られた感もする、そこで今や蔣派が國內的に行き詰まりを生じたとすると、愈以て外國を利用せんとするは當然で、當初のほどこそ、之に強がりの弱腰を使つたものだが、最早外國が、に靡きしと觀ては弱がりの强腰に變つた、而して革命の標榜にる國權恢復の美名に立つて、對外硬にと出で、先づ以て甘しと觀た日本に突きかゝらんとする如き、そのづうづうしさに程がない。

◇

日本の支那から甘く觀えるは、日本が支那の革命に同情と好意を有するからで、其處に滅多苦茶をやるならば、利用が利用とならずして、國內に對する權威を保たんが爲の方便は、反つて自己を亡すの具に供せらるべし、是れ外國の既に甘所劣を知つて總てを控え靜に其成行を眺むるのあり、支那國內有眼の人士にして亦此邊の道理を辨え、敢て黨派の爲めのみならず東洋の爲め徐ろに倒蔣政策を圖するものさへあればなり、日支條約改訂こそ、正に國民政府信望の試金石たらざるか。

森岡正平領事 奉天在勤

【東京一日發電】本日左の如く辭令發表された

香港總領事	村上義溫	
命漢堡在勤	領事	森岡正平
命奉天在勤	領事	內田五郎
命芝罘在勤	領事	藤村俊房
命濟南兼勤	副領事	三浦和一
命奉天在勤		

一行の旅行日程は報告書作製期間を含めて全部で二百六十日の豫定であると

山本總裁の努力は 民政黨でも認めてゐる
次の內閣でも留任を懇望せん
松岡滿鐵副總裁談

松岡滿鐵副總裁は一日記者團との定例會見に於て「時局問題は僕には全然判らないしまた僕の立場として話されないことは諸君も知つてゐやう、今日は諸君の質問に應ずる」と冒頭して大要次の如く語つた

山本總裁は黨人としては政友會員であるが、氏の滿蒙に對する政策、滿鐵の事業に對しての努力は政友會は勿論民政黨も充分に認めて居り氏の

眞面目 なる努力に對しては總てが政黨の立場を離れて賞讚してゐることは事實であつて今後共政黨內閣が組織されるにせよ山本氏に滿鐵總裁として留任を求めるであらうと思ふ、何れの內閣にせよ山本總裁には國家的見地からその在任を懇望されることは想像される、然しこれは山本總裁の政治的生命を殺すことになららうから政友會內閣倒壞後は或は辭任されるかも知れねがそれはオレが總裁でないから確定的なことは言へない然し總裁が最も

全力を 注いでゐられた鞍山製鐵所分離問題等は決定的のものとして後任總裁のため殘されるであらう、勿論其人事問題も至難なことでないから近く決定することにならうと思ふ、滿鐵社內の職制改正は僕が八年間も苦心した結晶であるが後任總裁の關係もあらうから或は中止となるかも知れぬが尙は研究中である、內閣が代つたからとて自分等は絕對に何等惡いことをしてゐないから直に逃げ出すといふやうなことは少しも

考へて ゐない、總裁からの通信としては從來から事業上の事のみで時局問題に就ては一昨日政府が行詰つたようだといふ一寸した通知があつただけだ

阿片吸飲事情の 調査員今秋來連
八月末ゼネバを出發

去年九月第九回國際聯盟總會に於て英國政府の提案による「極東に於ける阿片吸飲事情調査委員派遣」の件決議されたので英國政府が

中心と なりエクストランド氏（アルゼンチン駐在スエーデン公使）を委員長に、マクックス、レオ、ゼラール氏（ベルギー減債基金組合長）ヤン、ハヴラサ博士（チエコスロヴアキアの外交官）を委員にレンボルグ氏（スエーデン人にして聯盟事務局阿片買問題部員）を書記とせる一行はいよく來月末ゼネバを出發し極東に向ふこと決定した、一行は

滯在し まづビルマに三週間、海峽植民地及マレイ聯邦に二週間、次いでオランダ領東印度、ジヤヴア、スマトラよりバンカ島に巡行し更にシンガポールに引返しシヤムに赴き佛領印度支那からマカオ、香港と廻り香港は英國政府が阿片處置に窮してゐる際とて調査を十分にし次いで臺灣に立寄り、上海を經て大連に到着するのである、そして大連を最後として調査旅行を終へ

再び地中海を經由して 歸路に つくと、尙この度の調査に於て臺灣、關東州の日本統治振を十分研究調査して貰ふ

滿鐵公所長會議
愈よ來る十一日に開く

山本總裁不在のため永らく延期となつてゐた滿鐵の本年度公所長會議は愈來る十一日山本總裁の歸社如何に拘らず松岡副總裁主宰の下に本社に於て開かれることに決定した、出席者は北平、奉天、吉林、鄭家屯、洮南、齊々哈爾の各公所長並に哈爾賓、上海の兩事務所長で本社側は關係各部、課長出席し所轄事務並に管內の狀況報告等あり次いで一般方針に關する打合せを行ひ、續いて十二、三兩日事務打合せ會議を開く筈であると

製鐵事業、證券會社、硫安會社

繪行脚
【八】 淺枝次朗
茶爐

ピーーーピーーー路次の中國人長屋の一角から汽笛が鳴つてゐる、お湯屋の湯がよく沸いてゐるのだ。

◇

お湯屋と云つても錢湯のことではない、茶爐の飲料湯販賣店である

◇

店の主人は石油罐を椅子にしてお客を待つてゐる傍にはビヤ樽の水タンクと石炭が置いてある。

◇

お客が來た、娘さんが大きな藥罐を持つて……藥罐一ぱい銅子兒一錢。

飯田司令長官 赴旅

飯田佐世保海軍鎭守府司令長官は戶塚參謀及び松本副官を帶同し一日午前十時自動車にて赴旅し直に水交社に入りそれより白玉山に詣で正午は木下關東長官代理藤岡警務局長及び村岡軍司令官主催の午餐會に臨み夜は黃金臺のヤマトホテル別莊にて關東廳及び軍司令部の主なる人々を招待して晩餐會を開き二日午前歸連の豫定である

人事

▲孫寶琦氏（元國務總理）三十日入洲奉天丸にて來連ヤマトホテルへ
▲榊原政雄氏（奉天北陵農場主）一日朝來連同上
▲岡部平太氏（滿鐵體育係主任）今秋擧行の日獨陸上競技その他の用務を帶び二日出帆の香港丸で內地へ
▲井手正壽氏（滿鐵輸入係主任）山東方面視察のため一日出帆二十六共同丸にて芝罘へ

大觀小觀

「宮中重臣」が指一本つけたらへナ〳〵と倒れた。政府が弱くもあつたが「宮中重臣」の指一本は絕大の力がある。

◇

其の地位を利用し、私心を働かすに於いては、議會も畢竟無用に邇し。

◇

皇姑屯事件で討死したとは途方もない誤傳である。

◇

民政黨內閣の職立て、官僚が多いだけなか〳〵骨が折れさうだ。

◇

いつの政變にも中間內閣說は出て大抵ものにならないと決まつてゐる。

◇

飛行郵便といふものは、料金が高くて普通郵便よりも遲い。斯うなるとも物好きでなければ賴めない。

天氣豫報

二日曇り時々雨模樣南東の風
日出四時三十分日沒七時廿三分
滿潮前五時四十分後五時四五分
干潮前十一時五十五分午後なし

各地の溫度（攝氏）

	一日十一時	三十日最高
旅順	二四、六	三三、三
大連	二三、七	三一、五
營口	三〇、七	三三、六
奉天	二八、八	三一、五
長春	二九、〇	二七、九

專任の檢疫醫員増置方を關東廳に懇請

出入船舶數に比べ係員が少いと生野大連海務局長が

船舶積荷の消毒は各國とも船舶消毒法によつて制定され今日まで當地では專ら海務局檢疫課がその衝に當つてゐた、然るに人員その他の理由により幾多の不便があつたので消毒は船會社の方にて濟ませこれに對し海務局員が證明を與へるといふ

便法を 用ゐて來たが、最近に至り是非消毒に對し專任の醫員が必要であるとの聲が昇りつゝあり、一方たまたまマニラ行船舶に對し米本國より外務省を通じ「若し米本國の特定する消毒法を濟ませた船舶に對してはその證明書あり次第入港を許可する」との通報があつたので大連汽船においては醫員の増員方につき

猛運動 を起し檢疫課においても増員の必要にせまられ之れが諒解を得べく生野海務局長は廿九日關東廳を訪問、今日までの經緯につき詳述し増員方を懇請したが同局の檢疫課は出入船舶に比較して餘りに檢疫員の數が少いと問題にされてゐたものであるからこの際いよいよ増員の運びに至るであらうと云はれてゐる、しかして檢疫員の

増加と いふことは單にマニラ行船舶の便宜經濟といふ許りでなく一般船舶が利便を語得ことになるのである

大連民政署の定期昇給

大連民政署では六月三十日附にて高等官一名、判任官九名、雇員四十二名（内署吏十三名を含む）計五十三名、訓導七十名、教員七名、教諭十六名、教員二十三名計百十六名の定期昇給をしたが本日それぞれ辭令を交付した

劇界の功勞者　菊五郎勳六等に

【東京一日發電】尾上菊五郎優は劇界の功勞者として勳六等瑞寶章を下賜され、一日午前十時半首相官邸にて首相より右勳記を同人に傳達した

愈よ大連から旅順へ送電

料金も値下されよう　旅順民政署で其筋へ手續中

旅順民政署に於ては、從來二千キロワットの自署發電所を有し、之に依り電燈電力の供給を行つてゐたが、需要の増加に伴ひ、設備の不足を告ぐるに至つたので今回旅順市内元寶町の現在發電所附近に

變電所を新設し 滿電會社所屬天ノ川發電所と同所との間に送電線路を建設し大連より電力の供給を受くることゝなり、目下其筋へ手續中である、新設の變電所は千八百キロヴオルトアムペアの出力を有し送電線は差向き一萬一千ヴオルトの電壓を用ひ、將來は二萬二千ヴオルトに變更出來る設計であつて、本工事竣工の上は旅順にて

豊富な る電力の供給が出來ることゝなるばかりでなく、電力原價も多少安くなる見込であるから、其の成績によつては料金も値下されることゝなるであらう

夏のレヴュー（三）

丘の憧れ……（二）　『女護ケ峡』の牧場

峡間の牧場には百頭からの牛が放たれてゐる、それがみんな牝牛である、牡牛は？

◇

タネ牛の牡牛は、畦のアカシヤの林に三四頭にくゝられてゐる、牝牛はやさしくつて牡牛はどういふ猛。百四の牝牛に三四の牡牛「女護の峡」であるアカシヤの木かげでやさしい牝牛は乳をしぼられるたびに毎に目を細くしてゐる

◇

牧場は、人間の健康を支配する源泉である、ダガ日本人は牛の乳を愛することを知らぬと、この牧場の獣醫は語つてゐる、もつと身體を丈夫に、強くするには出來るだけ牛の乳をお上りなさいと、これは牛屋の廣告ではありません。

關東廳水産會内に如何がはしい噂さ

いよいよ檢察局の發動を見ん　成ゆき大に注目さる

關東廳内務局長神田純一氏を會長に、同殖産課長小川順之助氏を副會長として日支水産漁業者約一萬を抱擁し關東州水産界の發展向上と會員相互の福利増進を圖る目的の許に設立された關東州水産會はこれが清算會社たる關東州水産會社と

結託し 不純なる問題ありと專らの噂であり、大連署高等係および司法係では相呼應し内偵中であつたが、最近その内情を詳記した投書もあるのでいよいよ司法權の發動となり近く檢察局の活動となる模樣である、今事件の内容を探聞するに關東州水産會は漁業奬勵のため會員にして發動漁船新造の場合、農林省指定の工場に於て注文新造した漁船に對しては一馬力に對し三十五圓以上（一噸に就いて三十五圓以上の

補助金 を下附する規程を設け事業の助成を圖つてゐるが問題は農林省以外の泡沫工場に注文新造し、若しくは古船を購入して外部を塗り變へ馬力を胡魔化して新造船を僞る發動漁船に對しても規程を適用して補助金を下附したと云ふのにあるらしく、昨年中水産會が漁業奬勵のため建造を慫慂し完成せしめた發動漁船は大連九艘、旅順六艘でこの間或者の如きは五六年前製造した古船を購入しこれを塗り變へて

機械は 旅順鐵工場に於て修理を加へこの間マークを僞造し四十馬力を五十馬力に胡麻化して補助金の増額を圖つたと云ふ噂あり、これを奇貨としこの事實を探知して故意に補助の下附を延引して贈賄の提供を受けた技手もあると眞しやかに傳へられてゐる水産會社はこの間に介在して所謂問題を惹起したもの如く曾て本年一月水産會總代會議に水産會社の決裁手數料減收問題が紛糾した際にも

反對派 の言論を封ずるため種々の悪辣な手段が講ぜられたといはれ、また同社が營業政策に名を籍り毎半期に一萬圓内外の雜費支出をしてゐる等も使途明瞭ならずと云ふ點で問題となつてゐる模樣である、佐治專務は斯かる事絶對なしと言明してゐるが司法權の發動となつた場合は意外の人々の身邊にも波及すべく問題は頗る興味を以てその成行を注目されてゐる

撒水車脱線騷ぎ

けさ滿鐵前の三叉路で

約三十分間にわたる近ごろ珍しい電車の脱線騷ぎ――一日午前九時五十分ごろ寺兒溝から出で滿鐵本社前から引返し運轉をやらうとした撒水車が三叉路で後輪を紀伊町方面行きのレール中に喰ひ込ませて脱線、電鐵課から職工が駈けつけるやら各線の引返し運轉を行ふやらで一騷ぎを演じたが、何分にも現場が交叉點のうへ、乘換停留所だけに一時は見物の黒山を築いた【寫眞は脱線の撒水車と見物】

警務局巡査の講習會

警務局勤務巡査は本廳に在任してゐる關係から常に巡査として講習を受けることが少く且つ甲科生試驗にパスする者或は巡査部長に拔擢されるものも稀であるため今夏から講習會を開催することになり月曜は午前七時半點檢、土曜は午後一時から二時まで武道を行ひ八時から九時まで左の順位により毎日一科目宛の講習を七月一日から實施することになつた

月曜刑法、火曜支那語、水曜行政警察法、木曜刑法、金曜行政警察法、土曜刑事訴訟法

講習擔任者は林、齋藤、藤島、藤井、星子の各警部及隈部、平井警部補に渡、汪囑託の各氏である

帝博復興費の寄附金

帝室博物館復興翼賛會の滿洲支部長に推薦された神田内務局長は關東廳を始め各關係官公署及滿鐵に對して復興に要する寄附金の募集のため左の如き趣意書を送付し賛成を求めた

往年帝都震災のため灰燼に歸した帝室博物館は聖代一遇の大禮を記念すべき事業として復興翼賛會設立されたが、これは帝室の文化的事業を保存し國民の精神的表現と國民的文化の精神たる本邦美術の光華を顯彰し大に其感化を中外に普及せしめるため延ては國民思想善導ともなれば本會の精神に賛同し博物館復興のため醵金されたい

とあり滿洲からは十萬圓程度の募集をする意嚮で其額は各官公署にては俸給の二百分の一を基準としてある

南滿教專陸上部内地に遠征

來る十一日に出發して

過般本社後援のもとに擧行した南滿教專、南滿工專との對抗陸上競技に於て優勝した南滿教專陸上部は來る十一日出發内地に遠征することに決定した、内地に於ては東京高師文科、理科及び廣島高師と陸上競技を行ふことに決定したが南滿洲に於ける專門學校陸上部にして内地遠征を企てるのは今回が初めてであり、今回の教專の内地遠征は相當の興味を惹くであらうと見られてゐる、内地遠征中は岡部平太氏が一行を引率監督する由

入江背泳選手の世界二記録公認さる

我運動界を通じ最初の榮譽

【東京一日發電】我水上競技界に背泳の第一人者として活躍してゐる早大の入江稔夫選手がその茨木中學時代即ち昨年十月十四日の國際水上競技大會にて二百米突背泳に公認世界記録の保持者アメリカのラウファーを破つた際に作つた世界新記録二分卅七秒八と、同じく十月三十日和歌山中學プールの同校對茨木中學の對抗競技會にて四百米突背泳で作つた世界記録五分四十一秒とに對して、我水上競技聯盟より國際水泳聯盟へ世界公認記録として承認方を申請してゐたところ、三十日日本水上競技聯盟宛にこの二記録を正式に世界公認記録として認める旨通知して來た我選手が世界記録として公認されたのは男女、陸上、水上を通じ最初の榮譽である

海水浴場に公衆電話

昨今の暑熱に追はれて郊外の海邊は何處も大賑はひを呈してゐるので當地遞信局では之等公衆の利便を圖るため夏家河子海水浴場にも公衆電話を設置したが當局は更に老虎灘靜ケ浦海水浴場内にも公衆電話を開設することに決定し工事を急いでゐる

大連消防隊の獨立發表延期

大連消防隊の獨立は七月一日附發表の筈であつたが、突然の内閣倒壞で俄に發表を延期する事となつたと

再び山東動亂の兆に避難民續々着連す

けさ入港の海壽丸に乘込んで　劉珍年の暴政振り

山東動亂のバロメーターとされてゐる避難民がしばらく杜絶へてゐたと思つたら又復一日入港の海壽丸で女子供の避難者が六百名近くやつて來た、彼等の語るところによると劉珍年の暴政は日々惡化し事毎に新税に名を籍つて良民を苦しめ、これに對して住民等は自衞團と云ふものを各地に組織してこれに對抗し、いざといふ際は

鋤鍬を もつて、危害を加へんとするものと戰はんの意氣物凄いものがあつたが、劉軍の壓迫がひどいので遂に武力の前には刃向ふに術なく暴政にまかせてゐるが、この數日來平度にある孫殿英の殘軍が手強い逆襲を企てたに對し劉珍年はドシドシ軍隊をその方面に派遣してをり戰雲急をつげる有樣に良民等は難の及ぶを逃つてかくは續々避難來連したものだと

發聲映畫招待會

フオツクス社のムーヴイートーンニユース撮影班一行は既報の如く卅日來連し今夕協和會館に於てトーキーの試寫會を催すが一般公開に先立ち午後四時より協和會館に於て招待會を催した

石炭破碎防止にローダー設置

撫順炭は一般にその質脆弱にして高所より船積するに適しないので滿鐵ではカーダンパーよりの船積みに中塊炭、塊炭の落下する石炭破碎を防止する目的をもつて約十萬圓を投じ從來のローダーの東側に補助ローダーを設置することゝなり目下工事中である

自轉車乘り怪我

二十九日午前七時五十五分市外小平島會雜貨商孟兆與方店員常增壽（二一）が自轉車で市内信濃町市場に赴く途中、西崗街一番地廣場で前方の自動車を避けんとして後方から來た沙河口發四號電車運轉手李德祿（二三）車掌宿完譚（二二）の電車に跳飛ばされ鎖骨折ほか治療一ケ月の傷を負つた

竊盗常習捕はる

三十日午前零時北崗子第二十番戸にて擧動不審の支那人を發見取調べたところ右は住所不定無職鄭喜（三〇）といひ數日前市内聖德街四丁目六吉田政一方より金時計ほか價格二百圓位の物を盗み出し、同日香爐礁の某質店に入質せんとするを沙河口署員に發見され取調中逃走せる竊盗常習者なること判明

コソ泥捕はる

山東生れ住所不定無職穎家與（一八）は三十日午後五時半沙河口巴町二十九番地田邊マツ方に忍入り現金二圓その他をとつて逃げ出すところを御用

人妻籠絡の男

山東省生れ市内萬歳街二六〇劉福江方竹職人安茂貴（三〇）は友人の千代田町安茂雲が遠洋航海に出て久しく歸宅せざるを奇貨とし屢々安方を訪れ妻李氏（二四）を籠絡密通し遂に去る十四日李氏を奉天に連れ出し自分も行方を晦さんとしたので三十日安の叔父書齊より沙河口署に取押へ方願出た

馬車幼兒を轢く

二十九日午後三時半市内白雲山馬車收容所車夫遲長發（三二）は客を乘せて泰山街四十三番地路上に差蒐つた際遊戯中の市内泰山街一八二王兆基三男王運子（五）を轢き王は腹部その他に重傷、生命危篤である

オリオンに科料

大連三河町二九カフェーオリオンでは客待中の車夫達と連絡し警官の姿が見えた時は「シーイ」と口で合圖せしめ夜の午前二時乃至三時ごろまで營業を續け、或は高聲で放歌亂舞する等風紀を紊し附近の安眠を妨げてゐたので今回大連署に告發され科料五圓に處せられた

盗みの浮浪者

原籍愛媛縣西宇和郡日土村當時住所不定無職清水藤尾（二二）は三十日浮浪者として大連署で引致し取調中、先月二十日午前一時ごろ大和町四ヤマト洗濯所事務員野村弘方より金側懷中時計一個並に銀メダル、金側腕巻時計一個を窃取した旨自白した

南船北馬

◇…饑饉に襲はれた甘肅地方はその慘狀目も當られず、或地方は糧食全く盡きて相當の金を握つて餓死を待つより外なく、或地方は之と反對に多少の食料はあるが金が一文も無い爲め同樣の窮乏に陷り最も甚だしきは西寧附近に於て匪徒卅五名が一時に處刑された際の如き群る饑民は大地に斃れたる匪徒の肉を切取らんと各得物を携へて死屍に殺到する有樣であると（濟南發）

◇…七月末ごろ米國天然博物館の狩獵遠征隊が大連經由來哈し北滿並に沿海州方面で虎狩をやる豫定であると（哈爾賓發）

混沌として判らぬ 正副會頭の後任

大連商議の役員改選期愈よ迫る 茲でも兩派對立か

大連商工會議所役員改選期はいよ〳〵目前に迫つて來た、會頭改選の前衞戰である常議員四十名（十名は任期あり）の

改選 は來る廿五、六日ごろに開催される總會に於て行はれる模樣だが、現在の顔觸れから推して數名の新顔が當選し、あと三十數名は重任するものと觀測されてゐる、而して正副會頭の互選は本月廿八、九日頃行はれる豫定であるが、果して正副會頭の椅子は誰に落ちるか？目下のところ全く豫測するを得ない、現會頭佐藤至誠氏は屢報の如く辭意頗る固きものあり高田、横田兩副會頭も

辭意 を表明してをり、三氏とも辭意を飜すは困難と見られてゐるから必然的に正副會頭改選は免れぬところであるが、未だ推薦候補も自選候補も現れぬところを見れば一昨年と同樣、會頭の椅子は宙に迷ふのではなからうかと觀られてゐる、しかし佐藤現會頭は後任者を胸中に深く秘めてゐると傳へられてゐるから、來る二十五、六日の總會に於て非公式に新常議員の諒解を得、圓滿裡に後任者を定めるのではなからうかしかし大連財界の當面の問題として

視聽 を集めてゐる五品、錢鈔合併問題が紛糾中であるから或は政策的に兩派擁立候補が現れるとも限らず斯くすれば意外の混戰を來すものと見られこの點非常な注目を惹いてゐる

常議員制限説 著しく擡頭

五十名は多過ぎるこ 役員改選期を控へて

別項大連商議の、役員改選期を控へて、常議員制限説が擡頭してゐる、即ち現在の常議數は五十名であるが、實際常議員としての公職を自覺し、役員會又は公式會合に出席するものは何時も定まつた顔觸れの二十數名に過ぎず、約半數は殆ど名ばかりの役員で中には常議員に當選して以來一回も役員會に出席したこともないものが尠くない、これが爲め商議の事務に統一連絡を缺く恐れあるといふので一部眞面目な役員間に常議員制限論が叫ばれて來たが、いつも情實關係で實現を見ず、依然無意義と知りながら形式的に五十名の議員を擧げてゐるのである、然るに近く商工會議所法が滿洲に施行されんとするに當り、斯る惡弊を一掃して新法の精神に添ふべき準備が必要であると云はれてゐる

滿洲は金利高だが 融資は困難

安田銀行副頭取 森廣藏氏談

【東京特電一日發】上半期に於ける銀行の決算はいよ〳〵本月二十九日を以て締切る事となつたが何分金融緩慢、金利低下の狀勢は依然として繼續され而も公社債の發行も少額であつたが其の手數料收入や賣買益の少い所へ更に金解禁問題が擡頭して手持有價證券が

大暴落 を來した結果之れが銷却を行はねばならぬし折角預金利子引下げを行つても二月一日から實行されたので其の効果は未だ眞實に現れない

之に反して貸出利率は預金利子を下げる以上下げるが當然だと談じ込まれゝば已むを得ず應じねばならない、一方保險會社や信託會社は銀行同樣遊資過剩に苦しんで居る際であるから遠慮なく銀行の領域に進入して來た製糸資金の貸出の如き其の一例である

銀行としては全く遣り切れない譯だ、更に銀行の預金利子引下の結果郵便貯金は益々増すに反して銀行預金は

漸減の 傾向にある

從つて銀行家の中には郵便貯金の利下を政府が行へば之に伴れて再び銀行も利下げしやうなどゝ云ふものもある位だが之は却々實現すまい、地方銀行中には減配するより途のないものもあらう、併し銀行は他の事業會社と異つて社内保有金があるから減配せずとも濟むが之は健實な遣り方ではない

上半期は先づ銀行の受難時代で下半期になれば製糸資金の利子收入もある事であり、高利債の借替へ等で公社債の發行も見る事であらうから此の方の收益も相當見込まれ大體に於て

上半期 よりは幾分樂になるであらうと信ずる、遊資過剩の際であるから金利の高い滿洲邊に融資する事は最もよい事であるが何分確實な擔保物が少く危險が伴ひ易い、故に銀行としては一寸躊躇する次第である

錢鈔の手數料引下げ

一日より實施

錢鈔信託會社が嚢に關東廳に申請中の賣買手數料二割五分の引下げの二十九日附を以て認可があつたので愈々本一日より之を實施した

預金貸出 現大洋本位

安東の東邊實業銀號で決議

【安東特電一日發】安東支那側東邊實業銀號は三十日重役會議を開き左の如き決議をなした

從來一般商店の預金として現小洋銀を取扱ひゐたるが、朝預金して當日引出す如きはその煩に堪へず、因りて現大洋本位に變更し貸出預金も現大洋扱ひとし下半期（六月二十四日）以後の現小洋銀預金に對しては利息を附せずその他の預金には利率に從ひ利息を附す

右の決議に付き某氏はこの決議は奉票維持のためになしたものであらうと云つてゐる

州内華人工業 衰運の一途

資本金の増加に反比例して 生産高は漸減す

州内における華人工業はその大宗たる油房の不振に伴れて逐年著しき衰運の一途を辿り、資本金の増加に反比例して生産高は減退するの現象を呈してゐる、大連商工會議所調査による昨年中の華人工場數は六十三軒、この資本總額千百九十四萬一千圓、これに對する生産總高は三千九百三十五萬圓であるが、過去十三年前にさか上つて其の大勢を窺へば左の如くである（單位千圓）

	工場數	資本金	生産高
大正元年	四〇	一、〇五七	一六、六六六
大正五年	五〇	一、四一七	二六、一九七
大正八年	五三	一、三三三	九一、四四四
大正十四年	七一	一三、〇二五	八五、八四一
昭和四年	六三	一一、九四一	三九、三五〇

即ち過去十三年に工場數は僅か二十三軒の増加に過ぎないが資本金は十倍以上の膨脹である、一工場當りの資本金は元年末二萬六千圓、八年末二萬九千圓、十四年末十六萬六千圓、昭和四年末十八萬九千圓となり一工場の資本金に對する生産額は元年六十五萬九千圓、八年三百十五萬三千圓、十四年五十二萬九千圓、昭和四年二十萬八千圓と何れも減少してゐる

斯くの如く資本金に對する生産額の減少は生産能力と實際生産額との間に開きを生じたこと即ち生産設備の過大を意味するものであると見られてゐる

金融組合の委員會

八ケ所の理事候補者等會合

都市金融組合では來る十日頃關東廳會議室に於て瓦房店、大石橋、營口、鞍山、遼陽、鐵嶺、開原、四平街の八箇所の官選理事候補者及び組合代表者等の委員會を開催することになつた

鮮鐵中部線水害で不通

貨物受託中止

鮮鐵東海中部線（大邱鶴山間、慶州蔚山間）全線に亘り水害不通となり復舊見込不明に付滿鐵線では當分同線行き旅客手荷物、小荷物及び貨車運送の受託を停止することゝなつた

奉票の暴落と其の對策（六）

我國は速に銀券を發行せよ

野添孝生（寄）

對策を講ずるの時機

日支の經濟關係が緊密である以上、滿洲唯一の地方通貨が暴落しては、支那人の生活が脅威されると正比例して、日本人に幾多の影響を及ぼすことは當然である。しからば今日までに、我國としては何等かこの間對策を講じたかといふに、別にこれと取立てゝ稱すべき何物もない●ただ張作霖が奉票價の下落に憤慨して、暴威を逞しくした當時、流石の彼も策つきて奉天總領事に相談をもちかけたことがある。

作霖のいふには、省財政が苦しいから、自然奉票も増發しなければならぬ。しかして一旦増發したが最後、これを回收することは殆ど出來ない。官銀號に命じて大豆の買占めをさす、その買占めた特産物の代金は奉票で決濟し、軈て特産物は大連に出て金又は現大洋になつて官銀號に還つて來る、しかしこの金なり現大洋は、他に支出の目的があつて得たのであるから忽ち右から左に出て行く、これが今日奉票の下落の一因であることは充分知つてゐる。何とか方法はないかと云ふ意味であつたらしい

これに對して、奉天總領事は、方法といつたところで究極亂發してゐる奉票を回收するより他に手段はない。それには先づ第一戰爭をやめて、現銀の支出を減じなければならぬ。しかしてその第二には、現在東三省の財政が果して何うなつてゐるかを、自分に示して貰はねば、幾ら心配してあげたくとも、塞所が判らなくては、日本としても考へやうがないと應酬したらしい。ところが作霖もさるもの、塞所を示すことは示してもよいが、しかし一旦秘密を知つた以上は、必ず何とか省財政の立直しをやると日本から一札を入れて貰はねばと稱したため眞逆日本としても程度も知れぬ財政の紊亂に對し、その塞所を示してもらつたため、是非救濟するとの一札を入れられない結果、單なる一場の談話に終つたのである。一時東三省に日本から財政顧問を入れると傳へられたのは私達がこのことを耳にしてから間もないときであつた。

安取株主總會

缺損四千八百圓

【安東發】安東取引所第十七期定時株主總會は六月二十九日同社内に開催原案左の如く可決した

損益計算

一金二千四百九十九圓六十六錢　前期繰越益金

一金四千八百五十五圓九十五錢　當期損失金

差引

一金二千三百五十六圓二十九錢　次期へ繰越損金

團體めぐり

組合のない頃の 亂次ない當業者

嚴重な規約に依り統一 ◇…大連印刻業組合（上）

關東州には未だ産業組合法が施行されてゐない、だから州内にはいろ〳〵の同業組合があつて、それ〴〵組合規約を定められてゐるけれども、この規約が法律的に組合員を拘束することは極めて尠い、然し法律的には兎に角、組合の種類に依つては組合員に對し、その規約や決議が相當拘束力を有するものもないではない、此の印刻業組合の如き果して何の程度のものであるかそれはよく判らないが何れにしてもその組合規約は可成り嚴重なものであるらしい。

◇ 即ち仕事の性質上

一、印刻業者は本組合に加入しない限り當地で營業が出來ぬ

一、營業の許可を受けるには組合長の署名捺印が必要である

一、價格を統一する爲めに組合値段を定めてある

一、組合員中、それに違反した場合は、五十圓以上の違反金を取る

一、再度違反の場合は新聞廣告で謝罪せしむる

等々の規則があるがこれは勿論人の信用財産に重大なる影響を及ぼす印章を取扱つて居るので、商賣柄、嚴重な規約が必要な爲めであらう。

◇ 本組合が出來たのは明治四十四年四月で、組合長に竹下市次郎君、副組合長には二葉彦平君がなつたが組合員と云つても僅に九名であつた、ところで組合創立以前の明治四十年頃には未だ同業者間の統一もなかつたし、又節制もなかつたので、盛に自由競爭が行はれた、その結果、彫刻賃の如きもどし〳〵引下げられ、その代りに粗雜な製品を遠慮もなく納入し、中には賃銀の安い、技術の下手な支那人に刻らせて、顧客を欺くなどと云ふ樣なことも平氣で遣つたものだ、それで「これでは不可ぬ」と云ふので奮起したのが前記竹下君や二葉君たち、先づ同業者の統一を圖り、且「信用上にも、技術上にも、判屋の聲價を高めやう」てンで奔走の結果組織されたのが本組合である。

◇ 二代目の組合長は大正六年四月選擧された市川茂一郎君、第三代目は現組合長二葉彦平君、その二葉君は大正十二年一月選ばれて以來、引續き今日まで組合長を勤めて居る、組合員の數は大正六年ごろ十二名だつたが、同十二年には廿一名を増し、現在では十七名に減じて居る、その減少の理由について、二葉組合長の話を聞いて見ると

二代組合長市川サンの逝去や、組合の中堅だつた黒川サンの内地引上げ等が直接の原因で、不景氣は大した原因ではない、何の商賣でも然うであるが、殊に印刻業のやうな技術本位の商賣は、尠くも一人前になるのに十年はかゝる、だから一寸景氣がよいからと云つて、急に同業者が増す譯のものではなく、また不景氣であるからと云つて、急に生活に困つて廢業するなどと云ふやうなこともないものゝださうな。（寫眞は二葉組合長）

黄塵

◇…注目されてゐた合併總會も珍妙な結果に終つたものだ。

◇…男らしくこの一擧に依つて決すると思はれたものが、否決と可決と二つの決定を中心に今後愈紛糾は鬱陶しいことお話にならない。

◇…合併、反對何れの可否も言はず、ただ不合理、不合法、そして男らしくない遣り方に對しては感心出來ない。

◇…今後の解決は飽くまでも合理的、且つ合法的なれ。

◇…大連市長と同名の人、何を血迷つたか飛んだ處で物議の種を蒔く。

◇…睾丸のある人間のやることぢやない。

◇…若民政黨内閣出現したとして金解禁即行の勇氣ありや否や。

◇…ライオンに睾丸がないなどとは言はせぬぞ。

市況

特産 大豆は昂騰 買氣旺盛に

休日明け今朝の定期は銀市場の軟弱を眺めて大豆、豆粕は堅り殊に大豆は買氣旺盛に昂騰を辿り三等大豆は不申、豆油は動かず保合高粱は先高氣構への折柄現物の買長を移して强調を辿つてゐた

◇定期前場（銀建）

▲大豆（昂騰）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　三百四十一車

▲三等大豆　出來不申

▲豆粕（期近昂騰）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　八萬六千枚

▲豆油（保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　三千五百箱

▲高粱（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　百五十七車

▲包米　出來不申

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
昂保（袋入）	六五八〇	六六〇〇
大豆（裸物）	—	—
三等（袋物）	六四六〇	六四六〇
大豆（裸物）	—	—
出來高	七十車	
豆粕	二二七〇	二二七〇
出來高	一車	
豆油	一六四〇	一六四五
出來高	四萬五千枚	
高粱	四一二〇	四一二〇
出來高	六千箱	
包米（上もの）	四六〇〇	四六〇〇
出來高	四十五車	
出來高	三車	

雜穀出來値（廿九日）

▲包米（熊岳）四四〇〇（虎石臺）四四〇〇（新臺子）四三七

定期喰合高（廿九日帳入）

		前日對比較
大豆	二五〇八車	×二一七車
高粱	一四三九車	×四九車
豆粕	六七四千枚	×一八千枚
豆油	二〇九〇百箱	—

錢鈔

前場（低落）　今朝の海外材料としては倫敦銀塊は二十四片八分の一と（八分の一安）先物二十四片十六分の三と（八分の一安）紐育は五十二仙四分の一と（四分の一安）孟買銀塊五十五兩十六分の七と（十六分の一安）滙糾は六十九兩一二五、滙申は七十二兩二〇、大洋九十八圓三十五錢、日米は四十三弗十六分の十一と（十六分の一高）米日は四十三弗四分の三と（同事）英米クロスは八十四仙三十二分の三十一と（同事）米支は五十七弗八分の七と（八分の一安）上海標金休會當市の銀價は低落を呈してゐた

◇定期取引（單位錢）

期近	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高期近　三百七萬圓

◇現物取引（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二時	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高（銀對金　十萬五千九百圓）（銀對洋　一萬一千圓）

商品

前場　麻袋（保合）　產地鐵爲替共保合

株式

五品は低落 内地堅作ら

今朝北濱諸株も堅り東京短期の新東八十錢高五品二十一圓六十錢と堅りを入れたが當市の五品は合併問題について氣迷ひの折柄弱派の賣叩き効を奏し定期直とも一圓二十錢安に低落した新豆錢鈔は變らず現物の内地諸株も保合商狀であつた出來高定期八百十枚現物八百枚

◇定期

銘柄	約定期	値段	棚數
福助	九月限	二二・九二	一〇〇
同	十月限	二二・五・七	一〇〇
同	十一月限	二二・四・二	二〇〇

出來高　四十棚

麥粉（出來不申）

棉絲（保合）米棉二十ポイント安大阪三品四圓方の暴落を來したが地場一向無關心で保合閑散裡に散會した

を入れ地場氣乘薄にて保合閑散裡に散會した

前場　（五品、新豆、錢鈔、氷新、鐘新、大新、新東、五品の定期・直取引表 — 數値判讀不能）

後場（小戻）　（定期・直取引・爲替及受渡日歩表 — 數値判讀不能）

株

今朝大新の短期二十錢高東京の短期は新東八十錢高五品は二十一圓六十錢と堅りを入れたが當市は一昨日の合併總會紛糾に氣迷ひの折柄五品は軟派の賣叩き功を奏し定期直共一圓二三十錢安と低落した▲合併總會も堂々と戰ひこの懸案が解決されることを一般も希望してゐたのであるが醜態なる泥仕合に終り紛糾を將來にまで持越したことは善良なる株主及市場にとりては誠に迷惑なことである▲問題はいづれに解決するか豫斷の限りでないが市場としては種々の宣傳に迷はず冷靜に事の推移を注目すべきであらう。

豆

休日明け今朝の市場は銀市の低落を眺めて各品共概して堅り商狀を推移したが▲就中大豆は買氣旺盛に一段と上伸し四錢乃至六錢方の昂騰を示し手合も三百四十一車に達し頗る活氣ある場面を見せた▲豆粕も又相伴つて期近は昂騰を辿り取引も又旺んであつた▲高粱は先高氣構への折柄現物の買長に伴ひ現物は一氣に昂騰し之と共に定期も又强調を辿つてゐる▲現物大豆は油房十車邦商華商の輸出筋六十車で七十車豆粕は恒增和、瓜谷で四萬五千枚の手合を示した三等大豆は一車で萬台公の賣に日清の買物▲今日の豆粕生産高は一萬九千枚操業工場九軒、激減振りが甚しい。

銀

海外材料の銀塊は倫敦八分の一安、紐育四分の一安孟買十六分の一安と一齊軟調を入れ爲替は日米十六分の一高米日同事を報じて軟弱材料であつた▲上海標金はサンマーホリデーにより休會し、從つて地場鈔票としては四十五錢安の九十四圓八十錢と安寄りし、漸次下押し結局四十錢と止め低落を呈した▲上海情報に依れば銀塊安と田中内閣總辭職に一般華商好感し標金寄鼻より買人氣にて安値賣屋の崩れ殺到す、引續き銀塊弱見越しと、日米高豫想に休み明け標金尚高見込み▲二十九日の錢信合併總會は豫想通り混亂に陷り結局一方は否決し他方は可決され遂に訴訟沙汰を演ずることになるらしいが泥仕合もいゝ加減にして欲しいものだ。

上海爲替情報

【上海一日發電】久しく保合つた金も田中内閣の總辭職を動機に一波瀾を豫想され、休み明けを期待されて居るが、高値には相當纏つた賣物がある模樣で、若し民政黨内閣が出現すれば、クロスの恢復は當然なりと一般側に見られてゐる、一方銀は硬軟區々の説あれど大勢から見て、軟弱は免れず先般廣東筋は宋子文の廣東行に絡み約二千萬兩の銀を買付けたが、支那の輸出貿易の不振で、輸出ビルの出廻り少く、銀は愈々先安なりと觀測するもの多く、尙漢口方面の排日總熄と共に日貨の動き活潑となり之に伴ひ、各地共日貨の賣行恢復しつゝあるため、圓爲替安値には紡績、商館筋デマンド非常に多きためと、金業物品共買屋手筋賣屋はマバラなるため崩れ續出も加はり買人氣旺盛今後八十兩以上の高値を豫想する者多し、一方には、民政黨内閣實現するも金解禁は財界の安定せざる限り實施出來ぬことは現内閣と同樣なるべく、却つて緊縮政策により、クロスの反落を來すことなきやと觀る向あり、高値取付き買は警戒されて居る、然し支那人はこれ以上クロスの反落は無きものと見て大勢買方針、金氣配四兩五六

手形交換高（一日）

	枚數	金額
金	一、三一八枚	[illegible]圓
銀	三四四枚	[illegible]圓

奥地市況（一日前場）

特産 ▲大豆　寄付　大引

	出來高（一日）
定期	二、〇一〇枚
現物	二、〇七〇枚
合計	四、〇八〇枚

爲替相場（一日正午）

◇正金（銀勘定）

日本向參着賣（銀對）[illegible]

同　十五日賣（同）[illegible]

上海向參着賣（銀對）[illegible]

倫敦向電信賣（銀二志八片二分一）[illegible]

同　二ケ月賣（同二志九片〇分〇）[illegible]

◇正金（金勘定）

倫敦向電信賣（圓二志八片十六分十一）[illegible]

信用付二月買（同二志十片十六分三）[illegible]

錢鈔（開原、長春、哈爾賓、公主嶺、奉天、安東 各地相場 — 數値判讀不能）

▲高粱　▲小麥

市場電報（一日）

銀塊及爲替

倫敦銀塊	二十四片八分ノ一
同 先物	二十四片十六分ノ三
紐育銀塊	五十二仙四分ノ一
孟買銀塊	五十五留比十六分ノ七
英米爲替	[illegible]
米日爲替	[illegible]
米支爲替	[illegible]

棉花　◎米棉（換算三錢高）　◎印度棉（ベンゴール、ウームラ、オームラチ）— 數値判讀不能

大阪株式　東京株式　大阪期米　東京期米　大阪綿糸　大阪棉花　神戸豆粕　横濱生糸　印度麻袋 — 數値判讀不能

平安異香（36）

藥多默太郎作　中一彌畫

處女受難（五）

虫が知らすとでもいふのか、春光は妙に幸のことが氣になつてならないのだつた。一日無事な顔を見ないでは、とても心が休まりさうにない。順序から云へば、何を措いても一まづ名親へ歸參の顔を見せるべき筈ではあるけれど——

「壽王丸」

春光は云つた。

「お前は觀音樣を信心してゐるのだつたな」

「あゝさうだよ。觀音樣は俺の守り神だ。だが俺のは長谷の觀音樣だ。他所の觀音樣は嫌えだ」

この奇怪な御面相の童子壽王丸は、長谷觀音のお膝下である初瀬村の產だつた。

「では一ツ觀音占をしてみよう他に寄り道をしたい所があるので家へ先に歸るか、どちらを先にしたものか、觀音樣に伺ひをたてることにしよう」

腰の燧袋から撮み出した火口を細縒りにして、壽王丸の捧げる道中笠の押へ金の上に置くと、春光勿體らしく手を合せて、

「南無長谷の觀世音菩薩、家へ歸れとならば右を燃やせ給へ。道寄りせよとならば左へ火をやり給へ」

念じてカチ／＼、火を打つて細縒り火口の中程に點けると、不思議、火は右へは少しも延びずに左が忽ち燃えつきた。

「そら壽王丸、觀音樣のお示しだ俺は友達の家へ寄つて歸るから、お前は一足先に歸つて親父にうまく云つておいてくれ。暇はとらぬ一時ばかりだ」

「旦那樣」

「なんだ」

「俺なら左の方を脅つておくがなあ」

「やあ、お前知つてゐたのか」

「だがまあ行つて來るがえゝ、お幸樣も御心配だ」

「參つた、參つた。貴樣には降參だ」

笑つて別れて、春光は西八條の蒔繪師是信の家を訪れた。

西八條も是信の家のあたりは町並ではなかつた。一面の荒地の所々に、山家のやうな家が、枯木立の蔭に寂然としづまつてゐるのが見えるに過ぎない。稀に大きな屋根があると思ふと、それは、荒れ果てゝ屋根ばかりになつた寢殿の一部分が、昔日の榮華の形見として、物思はせに立遺つてゐるのである。

京の殷盛が、東へ移る傾向の見はれたのは藤原氏全盛の時分だと聞いてゐる。それから後、東へ東へと延びて行つて、その代り右京がだん／＼と寂れたのである。そして今では、東の京極が街の眞ん中になつてゐる。奈良の舊都は全滅して、遙か東に町が出來てゐる。

東へ東へ——何か神秘がありさうだ。

宮部三郎春光は、是信の家の冠木門に手をかけた。が中から高らかな烈しい聲が聞えたので、垣根越しに覗いて見ると、表へ向いて開け放ちになつた仕事場に、侍風體の男が腰かけて、頻りに何か喋つてゐる。是信は默つて俯向いてゐる。

何か重々しい氣配が感じられて蒔繪のお客ではなさそうに思はれたので、門に手をかけたまゝ躊躇つてゐると、侍風體の男の言葉の中に「娘御」だの「幸殿」などいふ聲が度々聞かれるのだつた。

ハツとして、春光は門を離れた垣根の蔭に身を寄せて、耳を澄ませたが、それからパツタリと聞えなくなつた。聲が低くなつたやうだ。

それからどの位の時間が經つたものか春光には解らない。

「では是信、否應はあるまいが……」

さういふ聲が近くなつて、間もなく侍が門を出た。髯面の肩の張つた屈強な侍だつた。

「何處かで見たやうな男」

春光はさう思つた。が思ひ出せない。

入れちがひに直ぐ入るのは變なので、少時待つて冠木門を潜つた。

メトロポリス　演藝館に上映

演藝館にては去る廿八日夜協和會館に於て本社主催で封切會を催し大好評を博した世界的名映畫である獨逸ウファ社特作品フリッツラング監督の百年後の世界を材題とした「メトロポリス」を上映するが、これがプロローグとして滿洲で最初の試みであるレヴュウ「人造人間の戀」を上演するが、出演者はチヤートン孃パリーノン孃の兩名でコスチユームは邦樂座で公開した「人造人間の踊」と同樣のものであると、尚日本畫は故鈴木泉三郎氏の戯曲を映畫化した小澤プロ作品五月信子主演の「ラシヤメンの父」を上映するが欠し振りの五月物として大いに興味を呼んでゐる

ラシヤメンの父

原作は故鈴木泉三郎の戯曲として智識階級や新劇を愛好する人達のあいだには相當認められたものであるだけこれの映畫化は可成り期待されてゐたものである。

私は劇詩の映畫化されたもので映畫的に肯定のできる作品に接したことは實に稀れで、ほとんど皆無と斷言できるほどである。

だが小澤得二はあの困難な戯曲を老練と堅實さで案外やすやすと映畫化してゐる、こんな映畫はともすればスポークン、タイトルの連續になりやすいのであるが、五月の効果的な演出でそれを救つてこの非映畫的な原作を極めてリズミツカルな映畫の世界に移植し得て充分に成功してゐる手腕に感服させられる。

主演者五月信子、高橋義信、共によく働いてゐるが、五月の扮するかよ子の演出には何んとも云へぬ味がある自分達母娘を捨てて遠くメキシコへ去りその生死をさへ省みなかつた父親自分の娘時代を生活の犠牲としてラシヤメンにまでさせた憎むべき父親の突然な闖入に對し　投げかけられてゆく發作的な憎惡、その父親が召使を殺してから斷ちきりがたい骨肉の愛にめざめる心理的表出等々、信子ならではと思はせられる處が多い、義信の父親龍治はメキシコで犯した罪に惱み續け娘かよ子に罵られる邊りの演技は可成り見ごたへがある。

然しこれ等は期する處監督の功績である。

裝置、ライト、コスチーム等大會社の作品に比較して決して見劣りがしないのがこの映畫を一層引立てゐるのではないか。（ＭＭ生）

巨彈連發の聲に活氣づいた夏の映畫街はトーキーの試寫會で更に話題を生みだすことだらう▲協和會館にどんな風に發聲映畫の映寫機を裝置するか頗る興味を以て迎へられてゐる▲演藝館では「メトロポリス」のプロローグとして「人造人間の戀」といふ露西亞人のダンスを上演する▲映畫人が「メトロポリス」を見て鞍山にスポツトライトをかけたやうな映畫だと言ひ乍ら▲矢張りカールフロイントでなくては出來ないネと感心してゐる▲この次は「月の世界」が早く見たいといふが餘り氣が早過ぎる▲また大物一つ「攻防五年ヴエルダン城」上映の噂が立つてゐる

滿洲日報

大特典 時價三万円 一平氏の肉筆進呈

はがきで御通知あれば内容見本進呈

一平全集

愛と笑の總出陣

全集中の王座を占めて増刷又増刷!!

〆切迫る

全十巻 一冊一円三十銭

漫画一万五千種類

東京・本郷・上富士前 振替東京六五二三八 先進社

外交時報

(毎月二回) 七月上旬號 (定價五十銭 郵送料二銭)

- 世界平和と英米平和 卷頭言
- 不戰條約留保問題 立作太郎
- 排日六周年を迎ふ 稲原勝治
- アヘン戰争の責任 矢野仁一
- 列國對外產業政策 大山卯次郎
- 日支通商條約改訂 小川節
- 新賠償協定の成立 柳澤愼之助
- 羅馬問題の解決 町田巽治
- モンロー主義定義 乾精末
- 英勞働黨内閣出現 伊藤襲雄
- 二十年後の滿蒙 大井二郎
- 英露復交の必然性 三島泰雄
- 日露戰争と獨露帝 大竹博吉
- 外務省情報部論 X Y Z
- 歐洲兩米支那時報 本社調査部

稲原勝治著 外交讀本 金四圓五十銭

米田博士 最近 世界の外交 金五圓五十銭

東京麹町中六番町 外交時報社 振替東京五一八六八番

●ノーシン頭痛に「ノーシン」●

優賞表彰記念

專問製作

金、銀、木、盃 洋銀、錫、盃 七寶花瓶 銀器、銅器 ブロンズ類 優勝カップ 優勝旗、校旗 彫刻像鉄 美術工藝

御大典記念品特價謹製

大連市山縣通六十三番地

金華號本店

電話七九四六番・振替大連一五九八番

典雅にして貴品ある

紫檀細工

各種製造販賣

伊勢町(吉野町角)

大連日支公司

電六七四八番

資本金 壹千萬圓

大連市伊勢町六十九番地

株式會社 滿洲銀行

頭取 村井啓太郎

電話(代表)四一二一番 振替(大連)三三〇番

支店所在地

金州、普蘭店、貔子窩、鞍山、奉天、小西關、公主嶺、四平街、長春、吉林、撫順、本溪湖、安東、興隆街

TEC

內面からの艶消で特に明るく汚れない

新 天威ランプ 天威瓦斯入電球

テーイランプの新電球

小さい可愛い御月様

お部屋のお花を金にした

わたしのきものを銀にした

東京電氣株式會社出張所

大連市山縣通五四 電五二五五

哈爾濱埠頭區地段街一五四 電四七七五

健胃強肺

日露丸

到る所の藥店にあり

坊やの自慢は此の健康

病弱だつた坊やが本劑を常用する様になつてから見る〳〵丸る〳〵と肥りまして此の健康

尚傳染病豫防藥としては無類です

定價 五十入 三十錢 百入 五十五錢 二百入 一圓 四百二十入 二圓

本舗 東京 山田資生堂

發賣元 大連 日本賣藥會社

建築—設計—監督

構造—計算—鑑定

大連市播磨町六七

宗像建築事務所

電話三四九五番

工學士 宗像主一

ラヂオ用、通信用トシテ最モ高評ナ

高砂工業會社製

日本乾電池

多數入荷

御一報次第型錄進呈可仕候

鮮滿總代理店 株式會社 進和商會

電話長八一二九番

貴金屬製作には

浪速町一ノ一五 電話三七二八

大村洋行へ

最新刊

- 栗田一著 輓近電氣鐵道 實價三圓十五錢送料十錢
- 双葉愛研究會著 實際と研究 最新玉突術 實價一圓二十六錢送料八錢
- フロイド著 藝術と精神分析 實價一圓八十九錢送料八錢
- 與謝野昌子著 昌子短歌全集 實價一圓五錢送料八錢
- 立石美和著 フーヴァー 實價一圓五錢送料八錢
- 廣津和郎著 薄暮の都會 實價九十四錢送料八錢
- 鏡平名知太郎著 プロレタリア藝術教程 實價一圓五錢送料六錢
- 鹽田力藏著 近代の陶磁器と窯業 實價三圓五十錢送料十二錢
- 上田恭輔著 支那陶磁の時代的研究 實價三圓五十錢送料十二錢
- 岡本一正著 詩と詩論 實價二圓十錢送料十二錢
- 島崎藤村著 新選 島崎藤村集 實價一圓五錢送料八錢
- 長谷川時雨著 處女時代 實價一圓三十六錢送料十錢
- 江戸川亂歩著 悪人志願 實價一圓二十六錢送料八錢
- 小酒井不木著 小酒井不木傑作選集 實價一圓二十六錢送料八錢
- 岡本一平著 指先人形 實價一圓五十七錢送料十錢
- 鶴見祐輔著 母 實價二圓十錢送料十二錢
- 日本雄辯會著 現代諸名士の諸演 大演說集 實價一圓三十六錢送料十四錢
- 尾崎久彌著 洒落本集成 實價一圓五十七錢送料十錢

最新刊

- 永井亨著 日本思想論 實價一圓廿六錢送料八錢
- 西龜正夫著 世界地理文庫 少年文庫 實價一圓五十七錢送料八錢
- 齋藤三郎著 手工の技巧と意匠 實價二圓九十四錢送料十四錢
- 矢野恒太著 日本國勢圖會 實價一圓五錢送料十二錢
- 島崎藤村著 新選 島崎藤村集 實價一圓五錢送料八錢
- 賀川豊彦著 宗教教育の本質 實價五十二錢送料四錢
- 五來欣造著 政治哲學 實價五十二錢送料四錢
- 鶴見祐輔著 母
- 高畠素之著 孟子中庸大學 實價二圓十錢送料十錢
- 吉田絃二郎著 韓非子 實價一圓八十九錢送料十錢
- 光用潤著 青い鳥 實價一圓八十九錢送料十錢
- 畑喜代司著 夢の花束 實價五十二錢送料六錢
- 長谷川昇著 滯歐作品集 實價一圓八十九錢送料六錢
- 鏡平名智太郎著 アメリカ モガモボ性の跳躍 實價一圓廿六錢送料六錢
- 石野勝五郎著 解法 幾何學眞髓 實價一圓廿六錢送料八錢
- 水谷次郎著 外交維新と大老の 幕末と死 實價一圓五十七錢送料八錢

大連市大山通 滿書堂書店

政機移動の歸着點は 全然其豫測を許さず
元老重臣の意中探りに 各方面の政客訪問

【東京特電一日發】田中内閣總辭職に至つた政治的理由は未だ明瞭に發表せられない爲、後繼内閣が如何なる筋道を辿つて出現するかといふことに就ては諸説紛々たる情況であつて、或は憲政常道論を唱へ、或は政策行詰りたる政變にあらずといふ理由をもつて第三者の地位にある者を以て中間内閣を成立せしむべしとするものもあり、今後の歸結については西園寺公、牧野内府等の胸中深く藏せられて外間にはその片鱗だも洩れないので昨今政客各方面の人々は進言の意味に於て、或は意中を探る意味に於て元老、重臣を訪問する者あるも未だ全然判然してゐない

局面轉回のため 骸骨を乞ひ奉る
◇…けふ田中首相が捧呈する 辭職理由の大意

【東京一日發電】二日闕下に捧呈する田中首相の辭職理由の大意は大命を拜受し今日迄聖上陛下の御稜威に依り大過なくして國務に精勵をしたるも各種の問題一段落を告げた、而して内外多事の際局面を新たにする意味に於て骸骨を乞ひ奉るといふのであつて疲勞の意味は記してない、而して首相が改造の爲め差出さしめた各閣僚の辭表は今日の總辭職決定に當り一切之を書替へ首相が辭職するから自分等も亦辭職する旨を記されてゐる

辭職理由の 聲明書 けふ田中男から發表

【東京一日發電】田中首相は二日の閣議に辭表を捧呈したる後辭職理由の聲明書を發表する筈であるが、之は滿洲事件が政治問題となり恐懼に堪へず因つて辭職したものであると述べたものである

二日の臨時閣議

【東京一日發電】政府は二日正午最後の臨時閣議を開き田中首相より辭表を捧呈した事につき報告する筈

後繼内閣組織大命 けふ午後降下せん
現内閣辭表捧呈直後 西園寺公より候補者を奏薦

【東京特電一日發】田中首相は一日閣議に基きいよ／＼二日午前十時參内聖上陛下に拜謁して骸骨を乞ひ奉り同時に閣員一同の辭表を闕下に捧呈することゝなつた、多分前例により追つて何分の御沙汰あるまで其の職に留まるやう勅諚を拜して退出した後、陛下には直に元老西園寺公を御前に召させられ後繼内閣組織者に關する御下問を賜ることと拜察する、此の場合、西園寺公は既に自らの判斷により公明なる心情を以て意中の候補者を奏薦するであらうから後繼内閣組織者が御召を蒙り大命を拜受するのは二日の午後であらうと拜察される

政爭緩和策として 中間内閣を力說
元老並びに財界の有力者に 貴族院各派有志が

【東京特電一日發】後繼内閣に就いては昨今種々なる說が傳へられてゐるが、右に關し貴族院各派有志は去る三十日以來各方面に會合を催し政機轉換について多大の注目を拂ふと同時に、更に一歩を進めて積極的に元老及び財界の有力者に對して後繼内閣の組織如何によつて政治上及び經濟上に及ぼす影響の重大なる所以を力說して、此際錯綜せる内外の時局に對應せしむる爲めに國内の政爭を緩和し、思想問題、社會問題の趨勢を穩健に導く意味に於て中間内閣を力說するもの著しく目立つて來た、而して此說が元老並に民間財界有力者に强き刺戟を與へ注意を喚起しつゝある、一部には所謂政界策士の奔走も同樣に行はれて居り相當手强く食ひ入つた觀がある、殊に運動に與つてゐる貴族院の研究會、公成會、火曜會の人々と

民政系

の色彩ある者は自ら別個の行動を執つてゐる、而し中間内閣を主張する人々の憲法上の見解は我憲法に於ては衆議院に多數を存せざれば大命を拜受し組閣する資格なしといふことはいはれてゐない、少數黨派といへども、或は衆議院に與黨一人も持たずといへど大命を拜受し得るものであるとなし、茲に根據を置き進みつゝある樣である、これに對し民政黨は非常なる恐慌を感じ表面冷靜を裝ふてゐるが、裏面に貴族院に屬す黨員をして右中間内閣成立の阻止に狂奔せしめてゐる

牧野内府歸京

【東京特電一日發】牧野内相は調査の結果鎌倉に居らず今日午後歸京してゐる

田中、床次兩氏 再び意見を交換
今後の政局に善處を期するに決した

【東京一日發電】床次竹二郎氏は一日午後四時十分青山の私邸に田中首相を訪問し昨日首相の訪問に對し答禮を述べたる後今後の政局に對し意見の交換を爲したが、會見後兩氏は左の如く語る

田中首相　床次君が來られたのは昨日おらが訪問したに對する答禮の意味である、それに昨日話した樣に互に一緒にやつて行かうではないかとの事であつたので、おらも同感だと答へた今後政、新聯盟して新政黨を組織するかどうか判らぬ、おらと床次君と一緒にやつて行くと言へばそれでいゝではないか

床次竹二郎氏　昨日田中君が見えたので答禮の爲め御訪ねした譯だが要するに之から二人で政黨の天秤棒を擔いで政界の爲めに協力して行かうと云ふことになつた譯だ、然しまだ提携に關する具體的の話はなかつたそれは追々やればいゝ

鐵相園公訪問

【東京一日發電】小川鐵相は一日午後四時半園公を訪問し本日の閣議の結果を報告する處あつた

政機進展を 冷靜に監視 政友總務會申合

【東京特電一日發】政友會は重大なる時局に遭遇した動機並にその經緯については絶對論議を愼み、輕擧妄動を防ぎ穩かに辭表を捧呈し、政機の進展を監視することゝなり一日の總務會に於て之を申合せた

鐵道事務次官 後任

【東京一日發電】鐵道事務次官八田嘉明氏勅選任命に依り運輸局長覓正太郎氏が後任に任命される模樣である

非民政黨内閣 運動の目標
床次氏を推すに一致

【東京特電一日發】民政黨内閣擁立運動は最初平沼、宇垣、齋藤、床次氏等の内何人に大命降下するも敢て選ぶ處なしとして策動されてゐたのみならず、策動系統は極めて雜然としてゐたが最近に至り薩派貴族院、研究會幹部、鈴木系統の間に統一成り運動の目標は政新提携を機會とし床次氏を推すに一致して來た模樣で森幹事長の床次氏訪問は此間の消息を裏書するものと觀らる

始末に困る 滿洲事件の發表
民政黨内閣實現せば 又復一と騷動起らん

【東京一日發電】滿洲事件の調査結果につき政府は遂に發表せざる事に決定しこの問題は次期内閣に持ち越される事となつたが若し民政黨内閣が出現するとせば民政黨は其の眞想の發表を極力田中内閣に迫つた關係上當然之が發表をなさねばならぬ立場にある、然るに軍部としては何れの内閣たるを問はず發表には絶對反對の意見を有してゐるのみならず陸相候補者たる宇垣大將も同一意見を有してゐる關係上容易に之が實行は出來ざるべく、さりとて發表を避けるか又は田中内閣のなさんとした程度の發表をなすとせば從來の主張を裏切る事となるを以て之も出來得ず之がため本問題は民政黨内閣設立と同時に再び政局の上に一波瀾を生ずるものとして各方面、特に軍部方面では極めて重大視してゐる

床次氏組閣の場合 政友會は擧黨支持
田中總裁代理床次氏を訪問 床次氏も諒とす

【東京特電一日發】森政友會幹事長は一日園公と會見せる小川鐵相と協議の上、田中首相を訪問し凝議する處あり其の結果總裁代理として午後六時床次氏を訪問し此際後繼内閣に就いて彼此言ふは憚り多きも、若し大命が貴下に降下するが如きことある場合政友會は擧黨一致して貴下を支持すべき旨を田中總裁の言として申上げると述べた處床次氏は深く之を感謝して會見を終つたといふ

政友會幹部會

【東京一日發電】政友會では一日正午より芝三緣亭に幹部會を開き高橋、松野以下各總務、森幹事長の外顧問等も出席し先ず森幹事長より政府が總辭職の已むなきに至つた經過及び田中、床次兩氏會見につき報告した後時局に對する意見の交換あり與黨としては靜かに政局の趨勢を觀望し黨の結束を圖り依然政界に於ける中心勢力たる

長岡氏政友入黨

【東京一日發電】長岡警視總監は勅選議員に任命されたので警視總監の辭職を聽許あり次第政友會に入る事となつてゐる

植民地首腦 當分留任

【東京一日發電】内閣總辭職と共に川村臺灣、山梨朝鮮、木下關東、兒玉朝鮮政務總監等の植民地首腦者も當然辭表を提出する事となるが此等は事務の整理に多少の時日を要するを以て今直に辭任歸朝する事なく新内閣成立後も當分留任するものの如くであるが山梨總督は取り急ぎ歸京する筈

福富鐵監局長辭表

【東京一日發電】鐵道省監督局長福富正男氏は一日小川鐵相の手許に正式に辭表を提出した

河本前參謀は 一年以内に復職
水町少將は勇退せん

【東京一日發電】滿洲事件の責任者として停職處分に附された河本大佐は一年以内に復職し、又齋藤中將水町少將は定期異動に於て勇退すべしと見られてゐる

民政内閣阻止の 潛行的策動
新黨側も頻に奔走

【東京特電一日發】民政黨内閣の出現を阻止して特殊の内閣を出現せしめ以て政局を安定せんとする策動は潛行的に且つ頗る周到に行はれてゐるが一日午後は藤村義朗男、近衞文麿公相前後して園公を訪問し孰も約一時間にわたり會談し更に小川鐵相之に次で同じく園公と會見してゐる、一方新黨側でも一日夜有力なる某幹部を鎌倉に派し同地に在る牧野内府と密議せる事實あり總辭職を翌日に控えて此等の策動は頗る注目されてる

非立憲的陰謀の 某巨頭遁ぐ
公然の批難を虞れて

【東京特電一日發】今回の政機轉換の際に於て非立憲的陰謀者の伏在を傳ふるもの日に繁くなつて、其關係者等も公然傳へらるゝに至つた、眞疑もとより不明であるが其内の影武者と目されてをる陸軍の某巨頭は早くも其別莊に遁避したといふことである

軍部異動

【東京一日發電】本日左の辭令發表さる

騎兵第三旅團長　陸軍少將　森　壽
補騎兵監
騎兵監部附　少將　石川　龜彦
補騎兵第三旅團長
鎭海要港部司令官　海軍中將　淸河　純一
補軍令部出仕
軍令部出仕　海軍中將　原　敢二郎
補鎭海要港部司令官
淀艦長　海軍中佐　大宅　由耿
補軍令部出仕兼海軍省出仕　海軍中佐　湯野川忠一
補淀艦長
橫須賀鎭守府出仕兼橫須賀海兵團分隊長中佐　大澤　一介
補襟裳特務艦長
第一遣外艦隊司令部附　海軍中佐　竹田　六吉
補霞ケ浦航空隊敎官兼航空隊附
吳海兵團副長兼敎官　海軍中佐　丸山　一雄
補扶桑副長
吳鎭守府出仕兼吳海兵團敎官分隊長　海軍中佐　大橋　五郎
補吳海兵團副長兼敎官

第十八潛水隊附　海軍少佐　中島　正人
補聯合艦隊司令部附

滿鐵總裁の進退 政變と倶にせず
政務官と立場が違ふ

【東京特電一日發】政機動搖に伴ひ山本滿鐵總裁の進退に關し昨今種々の說を傳ふるものあるも同氏の進退に就いては未だ何等具體的の決定を見てをるものではない、即ち一般政務官とは自から其立場を異にし更に一面特殊の使命を有する會社であり、その事業上重大なる關係あり、極めて周到なる處置を講ずべき責任を帶びてゐるのであるから政變と同時に遽に變動を見るが如きことはない模樣である

山本農相憤慨 勅選候補問題で

【東京一日發電】本日の閣議に持出された勅選候補は十四、五名の多數に上りたる爲め既に決定してゐた原法相は長岡總監に同情して自己の勅選を讓り次いで小川鐵相の推薦八田次官、久原遞相の推薦で桑山次官の決定を見た、此の外磯村豐太郎氏は以前よりの約束あつたものである、尚阿部農林次官に對し山本農相より極力推薦したが承認を得ず農相は大に憤慨し閣議半ばで席を蹴つて官邸を辭去した

文部異動發表

【東京一日發電】文部省辭令本日左の如く發表さる

宗教局長　下村　壽一
任社會教育局長(一等)
專門學務局長　西山　政猪
任宗教局長(二等)
實業學務局長　赤間　信義
任專門學務局長(二等)
文部書記官　窪田　治輔
任實業學務局長(二等)
文部書記官　木村　正義
任學生部長(二等)
督學官兼書記官　小尾　範治
任社會教育官兼督學官(三等)命社會教育局成人課長
石丸　優三
任文部書記官(五等)命學生部調査課長
東京女高師教授堀口きみこ
任督學官兼東京女高師生徒主事元の如し(三等)
東京女高師教授　成田　順
兼任督學官(三等)
東京女高師教授西野みよし
兼任督學官(五等)

木下長官 けふ東京發

【東京一日發電】木下關東長官は二日午後八時四十五分東京驛發歸任政務整理の上月末迄に上京の筈である

蔣介石氏 赴奉說 張學良氏入關困難の爲

【奉天特電一日發】張學良氏の入關說は去る廿七日日支の各機關及び通信に於て相當の確實性あるが如く傳へられたが、一日朝來又も支那側から學良氏入關說が流布された、これは前回と同樣單に噂に止まり學良氏は目下北陵の別莊にあり、一日朝は蔣介石氏の代表胡經文氏の來訪を受け、午後は翟文選氏の私邸を訪うて省長の辭意を飜さんことを懇望し、財政整理に關しては翟氏の建言を容れることにより遂に慰撫に成功したと傳へられてゐる、然も信ずべき筋の情報によれば學良自身は入關を希望してゐるが東北四省の實情に徵し關内の政局好轉せざる以上不可能と見られ、故に或は蔣介石氏自ら奉天に來ることになりはせぬかとの說が高い

東亞經調局 理事決定

【東京一日發電】東亞經濟調査局は本日大川周明、入江正太郎、佐田弘次郎、副島道正、鶴見左吉雄、長野朗氏を理事に決定した

衆議院議員の 優遇法決定

【東京一日發電】政府は本日の閣議に於て衆議院議員優遇法を決定した即ち從來十四年間衆議院議員たるに非ざれば勳四等に敍せられなかつたのを八年で勳四等瑞寶章に敍せらるることに内規を變更した

閻氏代表朱氏が 蔣介石氏を訪問
外遊に就て相談のため

【天津發】北平よりの情報によると閻錫山氏の命を受けて太原から入京した朱綬光氏は直に北京飯店に蔣介石氏を訪問し會談を濟ました後支那側記者に對し左の如き意見を開陳した

閻總司令は蔣氏が入平した事を知つたが善後問題の片付かないのと自身入京が不可能であるため余をして取敢ず一切を報告すべく余に命ぜられたので引返して來た、同時に閻總司令が馮司令と共に外遊の意志ある事も蔣氏に諭る使命も帶びて來たのである、朱刻蔣主席を訪問したが市黨部の講演時間の爲め途中で話を止めたので更に話をする考へである、閻總司令の外遊の決心は非常に强いものであつて之を引留める事は困難であらう、隨つて多少延期は見ても結局は外遊が實現されるものと考へる、馮氏の太原滯在は左程永くはあるまいと考へる既に傳司令に命じて乘船準備の手配はして有る其行先は先づ日本に落着き更に歐米を歷遊する考へで居る蔣氏とは出遊の途次北平で逢ふ事にならふ

閻氏先發隊 既に出發 日本に向ふ

【天津廿九日發電】閻錫山氏はいよ／＼下野外遊することゝなつたが、平津衞戍司令部參謀岳開先、宋徹の兩氏は二十七日午後入津し閻氏代表として海光寺駐屯軍司令部に植田軍司令官を訪問し「渡日の上は萬事然る可く御配慮を願いたい」と懇請し廿八日午後四時出帆の商船長城丸で渡日した、なほ通譯として燕京大學女教員許曼鈞女史を月給三百元で雇ひ入れ渡日の準備を爲しつゝあり、岳中將と渡日する宋徹氏は北京大學生で今回通譯として雇ひ入れたものである

閻氏の外遊を 蔣氏は許可せず
閻氏再び諒解を求む

【北平一日發電】昨日の會見に於て蔣介石氏は閻錫山氏の外遊を阻止し、國民政府主席として閻錫山氏の辭職外遊を許可せざる意嚮を示したため閻錫山氏は本日蔣介石氏を訪問して重ねて諒解を求める事となつた

租稅收入減少

【東京一日發電】四月末現在の租稅收入は七億八千七百一萬餘圓で所得稅、酒稅を始め兌換券發行稅、鑛業稅、砂糖消費稅、取引所稅等皆減收を告げ營業稅・相續稅は稍增收を示せるも總額に於て前年より三千七十六萬圓の減收である、而して印紙收入、專賣收入が各五六百萬圓の增收を示せるも三年度の自然增收は當初の豫期より遙かに尠く新規剩餘金は漸く四千二百萬圓に過ぎまいと見られてゐる

低資調達と 其の運用協議
天津において開いた 在支邦人聯合大會

【天津發】低資運用準備委員及び居留民團聯合會準備委員の聯合會が廿七日夜開催され席上在支居留民團、商工會議所聯合大會は上海を除く支那各地民團、會議所の贊成參加を得た旨が報告され、低資運用に就いて外務省の斡旋に依り東京の何れかより五十萬圓を借入るゝ案が具體的に進行しつゝある際會議の席上此れが貸付方法に關する具體案の協議が進められた結果大要左の如き草案を附議決定した

一、五十萬圓を二分し各廿五萬圓を營業復興資金及貿易工業資金に充當し之が運用に就いては輸出入及工業金融組合を組織し、營業復興資金に就いては金融組合若くは民團に金融部を設置し之を取扱ふ方針である

二、貸付に就いては擔保貸付及無擔保貸付の二種とし擔保貸付は出資額(一口五十圓十口を即納するか若くは一ケ年内に積立るか)の四倍即ち二千圓迄を借受ける事が出來る、その利子は借受利子七分なれば貸付九分とし期限は短期とし普通三ケ月とす無擔保貸付は出資額の三倍迄とし其他は前項と同一條件

三、營業復興資金は本人の信用狀態確實で相當の保證人あれば三千圓以内を貸付け契約成立の場合借受額の二割即ち三千圓なれば六百圓を償還出資額として最初積立る事を條件とする、利子は前項貸付と同樣で期限は十ケ年なし崩しの方法を採る事が出來る

東拓社債 五百萬圓發行

【東京一日發電】東拓では廿九日田中拓相の認可を得新規社債五百萬圓を發行する事となつた

利率　六分
申込　七月十日
拂込　八月八日、三年据置後四年隨時償還
引受　山一、野村、藤本、共同證券

外電料金改正

當地遞信局管內電信局發支那電報局經由諸外國宛電報料金は支那に於ける銀相場の變動に因り每三ケ月期に之を改定することゝなつてゐる關係上一日より之を改正したる趣きなるが其の主なるものを揭ぐれば左の如し

香港四十一錢、新嘉坡一圓八錢、印度一圓卅八錢、蘭領印度一圓五十三錢、歐羅巴各地一圓七十四錢、布哇二圓四錢、市俄古二圓二十五錢、紐育華盛頓二圓三十錢

鐵道撤去の 對策協議 東北交通委員會で

【奉天特電一日發】榊原農場橫斷線撤回遮斷に關し東北交通委員會で對策を協議の結果近く該問題に關する草案を完成し南京政府に通電することゝなつたと

森重支署長 拓務省入

【東京一日發電】本日左の辭令發表さる

關東廳警視兼同事務官　森重　千夫
任拓務事務官(六等)

畑軍司令官 赴任期 十日頃東京發

【東京一日發電】畑關東軍司令官は十日頃出發旅順に赴任する豫定である

河豆の出廻 稍々減少 三姓の淺瀨減水により

【哈爾賓發】最近河豆の出廻り狀況は六日下旬始めまでは每日殆ど百車內外ワツサルド、カベルキン、ドレイフスなど外商筋の着荷を見てゐたが二、三日前から三姓の淺瀨減水のため荷繰困難となり一日平均五十車に減じた、現在のところ三姓、綿錦もの多く品質は餘り良好でない、又本年總出廻り豫想高三十五萬噸のうち今日まで既に約十四萬噸の出貨を見てゐると

京阪高速度 電鐵認可

【東京一日發電】京阪新高速度電鐵は豫て鐵道省に認可申請中の處一日認可と決し直に指令が發せられた

劉鎭華の部下 天津で掠奪

【天津特電一日發】北平西北方に殘留した劉鎭華の部下は最近天津の郊外北倉附近に移駐して來たが思ひ／＼に軍服を脫ぎ捨て便衣姿となり附近一帶で掠奪を働いてゐる

芳澤公使赴滬 延期か

【北平一日發電】芳澤公使は來る八日塘沽發長平丸で大連經由十一日上海着の豫定であるが後繼內閣の成立に依り數日延期されるやも知れぬと

飯田司令長官 一日旅順視察

旅大の海軍關係視察の爲め三十日來連の佐世保鎭守府司令長官飯田延太郎中將は、戶塚參謀、松村副官と共に一日午前十時旅順の海軍關係要地を視察し、更に無線電信所より旅宿黃金臺ホテルに向つたなほ同夜六時より同中將主催の關東廳、軍部關係、民政署長、旅順市長等招待晚餐會が開かれた、因に同中將一行は、二日朝自動車にて大連に歸來、鞍山、撫順等の海軍關係の諸製造工場を視察して安東に至り朝鮮經由で歸保の豫定であると

人事

辭令【東京一日發電】

遞信省電氣局長　村井二郎吉
依願免本官
遞信書記官　高橋　正忠
任遞信省電氣局長(二等)

▲下津春五郎氏(奉天鐵道事務所營業長)一日午後八時半列車で來連ヤマトホテルへ

安樂椅子

田中內閣の死因は恐らく永久に秘められるであらうといはれてゐるシヤロツクホルムスのやうな名探偵でも一寸手がつけられまい▲不死身といはれる身體にも或急所があるに違ひない、ソコへ毒針を一本刺した下手人は濟ましてゐるといふことだけは判るがソレ以上は何とも仕方がない、名づけて之を某重大事件といふ▲兒玉朝鮮政務總監は關東長官當時から政變には慣れてゐるとて濟まして赴任した、長岡警視總監は在任一週間足らずで辭職することになつた、政變悲喜劇の一つである▲滿鐵の職制改正は總裁副總裁の進退が決まるまで保留される、ソレは後任者に對する禮儀であると松岡副總裁は言つて居る▲しかし取りやうによつては解決して置くのが禮儀であるとも見ることが出來る

大連市公報を添ふ

滿洲日報

政變來

◇

田中内閣倒る。其の直接の原因、政策の行詰まりにあらず。施設の破綻にあらず、政機の發動に最も形勝の地位にある者、而して最も公明な態度を執らねばならぬ者が其の立場を利用し政府が國策的に之を公表し得ざる問題に附け込んで、隱秘の間に何事かを企て、其の結果卒然として政局の轉換を見る。而も世論之を訝しまずして、頻りに憲政常道論行はる。實に不可思議な事象と謂ふべきである。

◇

田中内閣は、對支外交の刷新と財界の整理とを二大使命として生まれた内閣であつた。財界の整理は大體に於いて好成績を收めたといふことが出來るが、對支外交に至つては其の功過果して如何。優柔にして不斷なりし幣原外交の後を受けた田中外交は、國民によつて少からぬ期待を懸けられた。田中外交の基調其のものは、我等の首肯する處であつたが、其の實行に當つては餘りに多くのジャズが入り過ぎ内外の誤解を招いて、豫期の如き結果を收め得なかつたことは遺憾である。然しながら公平なる見地に立つて之を見れば不滿足の中にも、幣原外交以來の懸案を解決して遂に南京政府承認の段取りまで運んだといふことは、其功績と見ざるを得ない。特に對東北支那の方針に於いて其の手段の巧拙は兎に角として、其の標榜する處は、如何なる内閣と雖も之を繼承すべき鐵則であつて、今後の政府に對して、又在滿の邦人は亦た之を強要せねばならぬ。

後繼内閣如何

◇

所謂る憲政常道論よりすれば後繼内閣の組織者は當然民政黨であらねばならぬ。我等も亦た我政情が常に明快にして直截なる徑路を辿らんことを切望せざるを得ない。然しながら今回の政變を見るに、倒閣の原因が、世人の所謂る常道から外れてゐるといふ點で、後繼内閣が直に民政黨に赴くには、そこに尚ほ一抹の懸念がある。

◇

我等は夙に薩派の躍動を閲知してゐる。又平沼樞府副議長一派の權謀も普ねく知れてゐる。今回「宮中重臣」が止めを刺したがために政變の生じた處から見れば、一種の變態内閣の成立といふことは相當の可能性があるやうにも思はれる。然しながら、此の場合如何なる政黨を其の與黨とするであらうか、必ずや床次氏一派を基礎となし、政民兩派の分解作用の實現を豫期するのであらう。斯くの如くして政治の公明は到底期し得られないのみならず、眞の意味に於ける政局の安定は實現不可能であるといはねばならぬ。如上の見地から我等は直截簡明に民政黨が政權を得んことを希望せざるを得ない。

◇

近來黨弊の浸潤せる政状を憂へるのあまり、中間内閣を主張する人々の論據には素より共鳴し得べき多少のものがないではないが、此の論者は實際政治の運用を如何にするかといふ斷に於いて全く用意を缺いてゐる。黨弊の刷新は黨員自ら心掛けて國民の信用を復さなければならぬ。黨弊あるが故に政黨政治に失望するといふのは、あまりに早まつた考へである。昭和の聖代の今日に於いて、我等は官僚政治の復活といふが如きものゝ實現は斷じて欲しない。政權を投出した政友會にしても、政權が反對黨に赴くことを希望せぬために、變態内閣の出現に努力するといふやうなことあつては同黨將來のために甚だ面白くないことであると思ふ。

滿蒙鐵道驛傳競爭

日本人は汽車の運轉に最も適した人種か

世界で一番正確に動くのは日本

(第四十二信) 營口にて 南里紅班選手

◇打虎山から山海關迄の京奉線上に二十九時間以上もグヅ〳〵してゐては白斑に追つゝかれるのは當然である、機關車の故障中であつた河北支線の列車は三十分を遲れ正午溝幇子驛に到着した、十二時間も待たされた上何處をどう感異つてか朝鮮人に間違へられようとした予はその列車の到着と同時に車内へ乘込んだ、然るに三十分延着したゝめ發車も三十分延ばして二時半といふことになつた

◇津田君は驛長室にサインを受けに行つて後同車したが晝飯を食べながらお互の苦心談に花を咲かせたものゝ、心がお互にシツクリせないで話の上にも油が乘らないようであつた、二時二十分、もう汽車が出ようといふ時間になつて急に雷雨となつた汽車は出ない、四十分、四十五分雨はやんだ、車掌の發車合圖のベルが鳴る、三十分の遲發が雨のために更に十五分を延し結局此處でも四十五分の遲發

◇この呑氣な點が所謂支那鐵道の面白いところかも知れないが神經質の日本人には忍び難い苦痛である、大陸に生れて大陸に死んで行く彼等支那人は總てが大陸的であり、汽車が遲れようがどうしやうが平氣である、總ては沒法子で解決してゐる、此處から見ると日本人は机帳面だ、責任者は一分の遲延にも氣をもむ、乘客も憤慨する、そこで「日本が世界で一番正確に列車を動かす」とほめられる譯だらう、即ち日本人は汽車の運轉に最も適當した人種だといふことになる

◇河北支線の列車は大遼河に沿ふて走つてゐる、雨後の夕陽は赤々と窓を照らして油汗をにじませる、もう終點河北に間もなからう、河畔の楊柳は靜かに影を流れに落し、新緑の葭の間から列車の音に驚いて時々鳥が飛び立つ、六時四十分終點着、予としては一年半振りだ、驛頭には二日も前から予を待ち受けてゐた藤井選手や、石井警察署長代理の中原保安主任、本社營口支局長その他多數の出迎へを受け驛長から通過サインを受けて特に廻航された營口警察署の警備船に乘り夕陽の落ちた濁流の大遼河を營口に渡つた

◇河上には二三千噸級の汽船が錨を下してゐたがなか〳〵の繁盛振り、一ト先づ支局長の宅に落ちつく、同夜十時四十五分予は藤井選手に引繼いで官民多數に送られ營口發歸連の途についた。

◇予は二日大連を發し八日歸連したので丁度一週間を要した譯になるが擱筆するに當り奉天、開原、西豐、長春、四平街、通遼、山海關、溝幇子、營口、普蘭店等にて熱誠なる歡迎と便宜とを下さつた各位に心から感謝の意を表すと共に讀者及後援者に對し厚くお禮を申上げる

北滿に於ける對露方針を確立

張廳長歸哈して語る

【哈爾賓發】張國忱教育廳長は南京政府の招電により奉天からそのまゝ南京へ赴くべしと傳へられてゐたが事實は噂に反し廿八日晩張景惠行政長官一行と同車歸哈したしかして今回の奉天行きに關し大體次の如く語つてゐる

奉天 における對露會議は頗る順調に進み自分等の提出した意見は總て異議なく奉天當局の贊同を得るところとなり奉天からは目下代表者を南京外交部に派遣し更らに詳細打合せ中であるから近いうちには北滿における對露方針が確立されるに至るであらうが、差しあたり東鐵問題に關しては兩三日内に呂榮寰東支督辦から露國側に交渉を開始する筈になつて居る、また當地勞農總領事館並に拘禁中の共産黨員の處置に關しては尚ほ

現在 南京政府において審議中であるが、哈爾賓並に東支各沿線にある共産黨機關の存在は明に奉露協定に違反するものであるから全部閉鎖せしむる方針である、尚ほ奉露協定は露國側に協定の精神を遵守する誠意がある以上強いて破棄する意志はないが若し協定に悖るやうな態度や行爲があるやうならば相當考慮の必要があると思ふ

近く東支問題の交渉を開始

兩國とも強硬に出で 一波瀾は免かれない

【哈爾賓發】奉天當局と對露諸問題に關し協議中であつた張景惠、呂榮寰、張國忱等の當地支那要人は大體の方針を確定したの報の如く二十八日一齊に歸任したが東支問題は既に久しい間の懸案で解決が遲るれば遲れるだけ支那側にとつては

損失 が大きくなつて行く許りなのでこの際至急解決を必要があるため二、三日内に督辦管理局長權縮小、人員折衝、會計課、電權回收、土地の諸問題に關し呂督辦から露國側に對し交渉が開始されるものと見られてゐる、しかして右諸問題のうち管理局長の權限問題は東鐵部内における露支兩國勢力を左右すべき重大問題であるから支那側では同問題に對しては

全力 を注いで當るは勿論のことで聞くところによると支那側では今回の勞農總領事館問題を好個の札として支那人副管理局長の權限を露國人局長と全く同一のものとなし更に進んでは東支督辦に於いて局長の發した命令を撤回又は取消さしむる權能を附與する意嚮であるといふが露國側においてもこの問題を支那側の要求通りに屈從して行けば東支の實權を事實上全く支那側に回收されることとなるので他の

問題 はとに角としてこれに對しては奉露協定を飽くまで楯にとつて相當頑強な反對を試みるだらうから一波瀾は到底免れないだらうと見られてゐる

共産黨員檢擧

【哈爾賓發】二十八日正午頃當地第五區支那警察署は清河口モノソフ街十七號居住の東支組立工場職工ガルシエニン方を襲ひ家宅捜査の結果百冊の共産黨宣傳書籍を押收し身柄とゝもに警察本署へ護送した

天津反日會 鼻息荒し

中央が何かと

【天津發】天津反日會は段々排日運動取締の手が延びて行くので躍起となり常務委員荊惠生は廿五日市黨部を訪問し反日會組織變更後の權限問題に就き協議し國民政府が組織變更後は日貨の檢査及抑留を禁止し唯一途に不平等條約取消の宣傳のみを默許する方針なりと謂ふが若し事實とせば反日會即ち不平等條約廢止促進會なる一個の民衆機關は全く有名無實となり愛國的民衆運動の前途に重大障害なるのみならず國民革命外交政策上の一大損失なるは勿論である故に政府が若し強權を以て反日運動を禁止するなれば本會は全市の市民を率いて極力政府に抵抗し其反省を促し最後の勝利を獲得せねばならないと強硬なる態度を示したが市黨部も其方針に贊成し滿天下の民衆のため黨權を以て充分援助し反日の目的を達成する事にしたと

刻々深刻化する北支那の大饑饉

稀有の旱災と蝗害

【天津發】甘肅陝西方面が數十年來稀に見るの大饑饉に會し全く文字通り餓孚山野に滿つるの光景を呈し人肉を互に食むの悲慘の極事を演出して居ることは屢報道され是れが爲め政治軍事的には西北軍たる馮軍の分裂となり、時局の上に濃厚に其影響を語つて居る

◇

旱害饑饉は甘肅、陝西のみに止まらず山西唯一の糧庫である南部棉産地方も本年以來降雨絶無のため一帶の農作物は全く枯死し殆ど無收穫の狀態に陷り其他の山西各地も救ふ可からざる饑饉に見舞はれて居る事は事實で今日まで山西當局はその省内の窮狀を外間に漏らす事を欲せず極秘に救濟策を講じて居つたが最近河南の形勢急變し馮軍の西遷と共に山西唯一の經濟通路たる隴海線や正太鐵道の運河が阻止された爲め一層山西各地は物資の供給を缺ぐに至り、閻氏が馮氏と圓滿に時局を解決せんとする肚となつたのもこれが救濟のために外ならなかつた

◇

最近同地方視察者の話に依れば實際山西の物資窮乏は極點に達し過般來より天津に於て麥粉其他の糧餉を買收した額は五十萬袋に達し之を各地に輸送するため貨物自動車約五百臺を新舊取交ぜ買收したが交通路の不良なるため五百臺の自動車で各地の賑災地に糧食を配給するには六千圓を要する計算で若し此儘の旱天打續かば到底救濟の見込は無いと謂ふて居つた

◇

山西既に前述の如くで殆ど一省の安危に關する重大影響を與へて居るが、河南一帶も亦旱害は非常なもので各農作物は全く枯死して發育せず、各水路は全く乾いて唯一の交通路は閉塞されたので刻々に危險に迫られて居る、同地は西に京漢線、東に津浦線の利便あるので黄河は減水して舟行の便あり西北や山西の樣に物質に缺乏を告げないが地方人の財的破綻は救ふに由なく爲めに連年の慘害の上に本年の旱害と重なつては河南省民も戰爭處の騷ぎではなく韓復榘氏が多年の腹臣を御免蒙つて南方に歸順となつたのも一原因は是天禍にある

◇

更に直隷を觀れば連日の飛報は各地方の大旱魃を傳へる上に滿野蝗蟲に埋められ其の被害の甚大なる事未だ曾て見ざるものであつて目撃者の語る處に依れば比較的低濕なる天津東西南北郊外すら蝗蟲滿布し路上にも五寸位積つて居り薄氣味惡き蝗蟲の蔽に青色を求めて動いて居り、地方農民は各縣當局の指揮の下に坑を掘り之に掃き込んで埋めて居るが容易に之を退治する事が出來ず爲めに最近省政府は訓令を發し蝗蟲の驅除を懈れる者は嚴重に處罰するので無く縣長を革職すると通令した、前日來局部的に降雨があつたが是れも數ケ月の旱魃には殆ど效果は無く却て蝗蟲の發育を促成した位のものである

◇

斯くて北支、直隷、河南、山西甘肅、陝西が連年の兵災の上に未曾有の大旱災に遭遇し經濟的に重大深刻なる打撃を與へんとして居る、北支那一般の饑饉は既に既定の事實であり經濟的破綻は免れ難き命數となつて來た此の大きな影響が日本の對支貿易に何で無影響に濟むものであらう、在支邦商に交渉無く濟む筈は無い、反日會の問題に沒頭して居る間に在留邦商には斯かる致命的大敵が襲來して居るのである

實用 支那語會話

滿鐵學務課 秩父固太郎

第八

1 這是誰使喚的 2 是甚麼東西
3 這把小刀兒 4 那是他使喚的
5 拿這個幹甚麼了 6 割梨皮兒了 7 所以長了銹了
8 他沒擦乾淨罷
9 這不是割皮兒用的 10 那是修鉛筆的 11 叫他弄遭了
12 他常用那個
13 你怎麼沒告訴他
14 我說了、他不聽
15 那太不像事
16 我給您擦好了罷
17 叫磨刀的磨磨 18 還快哪
19 快是快不大好看
20 您湊合着用能

(譯文)

1 これは誰が使つたか
2 何をですか
3 この小刀だ
4 それはあれが使つたのです
5 これでもつて何をした
6 梨を剝いたのです
7 だから銹が出たのだ
8 あれが綺麗に拭かなかつたのでせう
9 これは皮を剝くものではない
10 それは鉛筆を削るのですのに
11 あれにだいなしにされて仕舞つた
12 あれは始終それを使ひます
13 お前何故あれに云はなかつたか
14 私は申すけれども聽きません
15 それは甚だ宜敷くない
16 私がちやんとみがいて上げませう
17 砥屋に砥がせよう
18 これはまだまく切れますよ
19 切れることは切れるが餘り見た所が好くない
20 我慢して(間に合はせて)お使ひなさい

(新字)

刀。割。梨。銹。擦。修。鉛。筆。弄。遭。磨。湊。

特産

◇定期後場(銀)

▲大豆(區々保合) 限月 寄付 高値 安値 … 七月末 八月末 九月末 十月末 十一月末 出來高 六十二車
▲三等大豆(出來不申)
▲豆粕(保合) 限月 寄付 高値 安値 … 七月限 十月限 出來高 二萬二千枚
▲豆油(強調) 限月 寄付 高値 安値 … 七月限 八月限 九月限 出來高 四千五百斤
▲高粱(軟調)
▲包米(出來不申) 七月末 八月末 九月末 十月末 出來高 七十四車

◇現物後場(銀)

混保(袋込) 大豆(裸物) 寄付 六六〇〇 出來高 二十車
三等大豆 出來不申 / 豆粕 二二七〇 出來高 一萬枚 / 豆油 一六五五 出來高 三千五百斤 / 高粱 出來不申 / 包米上物 四六〇〇 出來高 三車

錢鈔

◇定期後場(鈔票) 期近 寄付 高値 安値 … 出來高 期近 百四十萬

◇現物後場 一時半 二時半 三時半 銀對金 銀對洋 … 出來高(銀對金 二萬)(銀對洋 六千)

商品

麻袋(保合) 銘柄 終定期 値段 … 鐵筋 延十月末 … 出來高 五萬枚 / 綿糸布、麥粉(出來不申)

神戸特産物(一日)

大豆現物 先物 / 豆粕現物 先物 / 滿洲小麥 / 豆油現物

大阪株式

銘柄 後場寄 … 大株 新株 新紡 新糖 日糖 新船 郵船 東新 …

東京株式(長期)

東株 新株 品中 先中 新信 中先 …

東京株式(短期)

大阪期米

限月 寄引 値高 安値 … 七月限 八月限 九月限

東京期米

限月 後場寄 … 七月 八月 九月

満日地方版

奉天

赤痢患者は中流以上に多い
食過ぎ寝冷にが原因 一般の注意が肝要

發疹チブス終熄の暇もなく奉天市内に赤痢が襲來し廿九日の如き一日に八名も發生する始末に當局では大々的に防疫を行つてゐることは既報の通りであるが奉天署衛生係では左の如く語つた

患者の大部分は中流以上のものでしかも獨身者に多い處から觀れば全く喰過ぎ寝冷等の不注意から下痢を起し遂に赤痢となるものと思はれる、即ち奉天における水、氷、魚類、野菜等の生物そのものは直接赤痢に罹ることはないが程度を過し寝冷をするのが最も危險であるから一般人も大いに注意して貰ひたい

盛會だった水泳大會

卅日の日曜日は雨後の暑さ更に加はり全奉天の水泳大會は正午から開かれたので奉天プールは本年初めての盛況を呈した、女子、少年、青年、壯年の選手を除く各種競技が始まりその他二千餘名の入水者あり盛會を極めた

町の便り

三十日午後九時十分頃青雲寮内止宿佐藤某は同寮浴場で懷中時計一個を何者かに盜まる

◇

奉天鐵西獸疫研究所附近道路上に三十日朝十時頃四十恰好の支那人病人を置去りにせる不埒な支那人あり目下犯人を搜査すると共に右支那人の引取方を支那側に依頼した

◇

宮島町八谷口某は三十日未明自宅に於て毛布外十七點價格百四十六圓を盜まる

人事

▲田邊滿鐵理事 卅日朝來奉
▲藤根滿鐵理事 卅日朝安奉線にて來奉同夜歸連
▲三宅關東軍參謀長 卅日朝來奉
▲林博太郎伯（貴族院議員） 夫人令孃同伴卅日安奉線急行にて來奉同日北行西比利亞線經由赴歐の途についた
▲秦少將 廿九日歸奉
▲八ケ代副領事 同上
▲中村門司稅關監視部長 三十日長春より來奉
▲岩井少將（在鄕軍人大連分會長） 三十日朝來奉
▲立川奉天署警視 三十日新城子往復
▲トロス氏（駐奉英國領事） 二十九日營口より歸奉
▲東大農學部學生二十一名 七月二日安奉線にて來奉三日撫順往復同日長春へ
▲全大阪柔道遠征團一行二十七名 一日午前八時五十分着列車にて大連より來奉同日撫順往復二日長春、五日過奉釜山へ向ふ筈

満洲繪筆遍路（二） 大野斯文

鉛搦ひの神様（金州）

金州城壁上、艮の角に建つてゐる鼓樓、實は今迄車窓から眺めて鼓樓とばかり思つてゐたのだが、何氣なく登つてみると容貌魁偉な塑像が巢食つてゐる。紅炎の髮を逆立て左に桝樣な物を抱へ右手を振上げ、惡どい彩の半ズボンを穿いたきりで其右脚を一寸擧げた恰好、鉛搦ひの神様でないかと思ふ。軒下には遙々不便な目して來て午睡をしてゐる太平人も居る。

哈爾賓

商工議々員改選
廿九日午後一時から民會公會堂で投票

當地日本商工會議所議員改選は既報の二十九日午後一時から民會堂で投票を開始したが午後四時開票の結果左記の諸氏が當選した

一級議員 箱崎文彌（朝鮮銀行）岡茂（三菱商事）藤牧直樹（正金銀行）辻光（北滿興業）岡崎虎雄（國際運輸）水上多喜雄（松浦商店）佐賀常次郎（佐賀商店）高橋眞一（北滿電氣）島田千代治（三井物產）佐々木久松（東拓）

二級議員 前田利男（前田洋行）加藤明（加藤商店）谷口益太郎（南海洋行）加藤米吉（加藤公司）古澤鉦一（旭昇號）松尾光藏（日盛洋行）光武邦一（光武商店）相見幸八（高岡號）杉浦龍吉（商船組）湯淺章人（不破洋行）

尚會頭、副會頭の互選は多分七月上旬開催の第一回議員會で行はれる筈である

藤井理事辭任

二十八日開催された民會評議員會で藤井理事辭任の件が通過しその後任に國際の鈴木佐七氏推薦の動議が出たが委員附託となつた

水の爭奪戰

廿四時間と云ふ記錄破りの斷水騒ぎに女連や大僧小僧達まで給水タンクを取り圍み給水爭奪の大騒ぎをやつた

撫順では二十九日午前より三十日午前までの

鞍山

塵芥箱の檢査

鞍山警察署では傳染病發生時季が迫つたので塵芥箱備へ付並に修繕方の宣傳ビラを配布した、塵芥箱の備へ付無きものは七月五日までに新設改造せられたしと、當日は係員をして檢査せしめ違反者は規則に基き處分すると

ゴルフ競技會

鞍山ゴルフ倶樂部では三十日午前九時より臺町裏ゴルフリンクに於て三十六ホール、メタルプレーの競技會を開催したが頗る盛況であつた

鞍山小學校の創立十周年記念祭計畫

鞍山小學校は今年が創立滿十ケ年に相當するので今秋九月に創立十周年記念の祝賀會を擧げ各種の催しを行ふべく目下之が畫策中である

鞍山神社大祓式

鞍山神社では例年の通り三十日午後七時より水無月大祓式を執行したが多數氏子の參拜があつた

歡送迎會

鞍山製鐵所事務課長に着任した石橋米一氏及び近く歐洲に出張する深水、深山、黒川の三氏を二十九日午後七時より北二條町食道樂銀蝶に招待し實業協會役員、地方委員區長其他有志三十餘名にて歡送迎會を開催した開會に際し加藤實業協會長主催者側を代表して挨拶なし次に石橋深水の兩氏謝辭を述べ宴に移り頗る盛宴裡午後十時頃散會した

撫順

京城軍を迎へて陸上競技爭霸戰
撫順軍と二十一日に

撫順陸上競技部では朝鮮の強チーム京城陸上競技部を迎へ七月二十一日永安臺運動場で對抗競技會を行ふこととなつた、全鮮の代表チームと撫軍との競技種目は百米、四百米、千五百米、百十米高障害、走幅跳、走高跳、棒高跳、圓盤投、槍投八百米リレーの十種目である、圓盤投、走幅飛、槍投は各六回の試技によりて勝敗を決する事とし採點法はリレーを除く各競技一等より四、三、二、一點、リレーは四點、一點、一競技同點の時は合計點數を折半とする定めである當日入場式は午後一時、競技は一時半から午後五時までの豫定であるが、この競技は豫ての懸案であり今回いよいよ實現されることとなつたもので一般から頗る期待されてゐる

三人組の宵強盜
町の眞中に雜貨商を襲ひ金品を強奪逃走

まだ暮れきらぬ夏宵の二十九日午後八時三十分撫順市の眞ン中西七條通卅九番地雜貨商劉汝楫（四九）方に客をよそほへる三人組拳銃強盜現はれ店主外家人六名にブローニング拳銃をつきつけ震へ上る所を金庫を開かしめ金品一千六百圓のものを奪ひ東方に向つて逃走した絕對安全地帶と安心してゐる町の眞中に強盜騒ぎのあるのは近來にない事とて市民は怯えきつてゐる

×

と責める者も隨分あるやうだが何んと言つても地下十數尺の故障は如何に綿密な注意を拂つても千里眼を有せぬ以上わからぬ上水壓の關係上突發的に起つた以上徒らに當事者を責めるは甚だ無理だとは有識者間輿論の一致する處だ

×

希はくば兩度の不可抗力的禍を上水濫費者連への「頂門の一針」となし無益な批難攻擊よりも兩度の斷水で馬ケツで貰つて來た水の有難味を忘れず今後は社會的良心に從ひ上水節約を極力なしせめては濫費に依る斷水だけでも防止する事が禍を轉じて福となす所以ではあるまいか

田坂主任出發

滿鐵石炭販賣撫順出張所田坂主任は內地炭界の需給關係及び中國地方北海道方面の港灣視察の爲一ケ月の豫定で三十日午前出發した、因に同氏は日程の許す以上歸途九州地方の港灣も視察する由

煤都餘燼

一體撫順の人は上水をベラ棒に濫費する惡習慣があるとは言ふもの、一週間毎に二十數時間の全區斷水とは聊かひどすぎる

×

水道係や機械工場方面の權威者を以て任ずる技術者は何の爲高給を食んでゐるのか、數日前に破裂した所と隣接送水管の再度破裂の責任を何んとする

長春

平頂山方面の境界線確定す
日支地主間に係爭を生じて

范家屯の南方平頂山の約五十萬坪は附屬地の境界線に當つてゐるが地勢上調査が困難であつたのと山地でその必要もなかつたので勞境界線は確然と決定し居らずその儘となつてゐたが、同地の附屬地を滿鐵太商店が買收するに至つて附屬地外の支那人地主との間に係爭を生じ懸案となつてきたので、長春地方事務所から寺井土地係主任藤田係員は日支地主を同伴し十七日同地に赴き實地調査の上境界線を確定した

北關夜話

二十七日の白晝、市內某カフェーの二階で不良少壯老年倶樂部の發會式があつたさうな▲音頭取りは例に依つて得丸地委▲會員男女合せて八名▲下は十九歲の鈴丸君から上は四十幾歲まで▲會員の名が振つてゐる▲カマキリの市、インドの忠若様の遠公、朝鮮豚の軍公、パイパンの得▲それからバンプの靜、シベリヤお春、夏向きお澄▲目的や規約は何れ考へるのだとか▲入會條件は獨身だと

旅順

旅順の住宅難は寧ろ當然のこと
土地がなく建築規則が面倒 規則の緩和が必要

旅順市の現在が商人の增加より寧ろ大連方面の滿鐵社員其他の地方居住者の增加を最も緊要とすると云ふ輿論は日濃厚となりて當局に於ても大いに鑑みる處あり目下之が考究中であるが一方外來居住者のみに非ず關東廳、民政署、警察、小學校等各官衙方面に於ける宿舍難は當事者の腐心を重ねその苦痛を嘗めつゝある事實に徵しても明かに住宅難來に直面してゐる此點に就き市內二、三の請負業者及び貸家業者の意見を綜合すると

旅順の住宅難は事實でよく空家を尋ねて來ます、一ケ月二十圓から卅五、六圓迄の住宅が二十軒位あつても決して無意義じやありません、よく家を建てゝも合はぬと云ふ事ですがそれは色々缺陷があつたりその人物の選擇を誤るからです、尤も近頃になつて幾分此確信が出來たやうで今後は從來の樣な算盤に合はぬ事はありません、それで土地さへあれば直ぐ建築しますが第一に土地がなくあつても陸海軍用地でなかく〜貸下が六ケ敷しく面到臭いから考へます、あつても扶桑町（新舊市街の中間に稱する處）で僻地であり考へ物です、第二には建築樣式が勝手に出來ないで二階建でなければいかんの入口は西でなければ許さんなぞの規則の下に許されるので實際居住そのものからでなく、たゞ市街美とか體裁上からばかりからの規則づくめですからなかく〜すぐ建築する段取りには行きません

と稱し當局者は眞面目に此方面の考究打開に努めて貰ひ度いと云ふ聲は今や市民間に於て相當大なる輿論として擡頭して來た

綠蔭漫語

謹嚴にして內外は勿論、部下一同からも尊敬されてゐる吉村重砲兵大隊長は來る八月一日の定期大異動には某地へ榮轉すると云ふ噂がある▲乃木町郵便局前の支那雜貨店に居候してゐる王某と云ふ寫眞師は近頃水師營會見所に出張撮影を爲してゐるが、「己は憲兵隊の密偵だ」とか、警察側には特別の關係ある者だなぞと云ひ、フラしてゐるので其筋では彼の所在を搜査中である、▲二十七日の午前十一時頃樋口塗物師が奴壽しに所用の爲め自轉車に乘つて僅か五分間ばかり一寸車道のアカシヤ下に自轉車を置いてあつた處、通り懸りの巡捕が其の儘スーツと乘つて行方不明、驚いて本署に通知したら、乃木町派出所にあつた、そうしてウント叱られた、危ふく罰金二圓は免れたが、巡捕の無斷乘り……は痛く附近の反感を買つた▲水泳家で知られた元民政署電氣係の桂正一氏の爲め民政署員有志は記念カップ一對を贈る事となつた

四平街

東照寺の入佛式盛大に嚴執さる

既報の如く四平街淨土宗東照寺の入佛讀法要は三十日正午十二時よりいと莊重裡に勵行された、此の日氣遣はれた前日來の暗雲名殘なく霽れ渡つて眞夏の陽光輝きて

本陣

に充てられた驛前大和洋行より中央大街一帶にかけて日傘搖らめき扇子波打つの一大雜鬧場を現出した、午後十二時半轟々天地を撼動する數發の爆竹を合圖に、行列は大和洋行前に敷かれ詠歌振鈴に和する同宗婦人團を先頭に地方佛教團之に亞ぎ縱絡の掛め金色の桂冠いとゞ美々しく扮飾せられた稚兒は紅白に綱へる佛體を安置せる蓮臺を曳き、佛體の前後は沿線各地より參列せる十二名の同宗僧侶を以てし水野法舟師が守衞して蜿蜒長蛇の

佛體

陣を作り中央大街を一直線に途すがら轟々たる爆音を滿蒙の沖天に轟かしつゝ、地方事務所前に至り夫れより北折し步調緩やかに肅々として東照寺に至り佛體を正面中央の御厨子に安置し、いと嚴肅な讚經裡に多くの參詣者の禮拜と共に遂に盛大なりし入佛讀法要の勤行は終了した

水溫から見た春鯛不漁の原因
—（水產試驗場の一苦勞）—（下） 伏木政樹

兎に角我々は今前途に多くの希望を持つて一歩一歩悠々たりと確實な足どりで前進するに努力してゐる、海は廣い、天候に情はない、其れに我漁場係で受持つてゐる漁場は五萬平方浬以上の廣域に亘つてゐて內地の水產試驗場で僅々數百平方海里を受持つてゐるのに比べて我々の勞苦の如何に甚大であるかはあながち手前味噌ではないことだけは知つて貰へやう、其の廣汎たる海洋の神秘を探るものは僅に百二十三噸の扁舟旅順丸一隻に過ぎない、しかも海況は刻々動いてやまず直接眼にみることのできない海洋中の魚族は生きて旺に游行する「海を直に研究室」とせねばならない我々には陸上の靜物の研究に比して其困難は實に言語に絕するものがある斯業に從事する諸君が——其の帳尻に赤字のバランスシートを出さないと念願するならば水產試驗場を利用し海洋の寶庫の扉を開くことに努めやうではないか、諸君の侶伴として働いてゐる」と言ひたい。

◇

閑話休題、この龍口沖に於ける海象の變態は利津河沖の黃華魚にも大きな影響を投げた、今年の鯛漁場が沖合に偏してゐたことは即ちこの海象に由來してゐるので其後旅順丸は渤海の中央に於て成熟した卵を抱いてゐる鯛を——一網に數尾に過ぎないが——漁獲した、しかも其の邊は表面水溫十五度九分——（陸岸よりも却て高い）海底十度四分の不良な海況の地であつたことは龍口沖の變象に誤られて沖合遙かに迷ひ出たものであらう又他の一因としては近年發動機船の活躍に依つて鯛が四散し勝ちになつたことも亦擧げられるであらう、其れは慥に想像に難くはない、で、今年の鯛が春先の冷海水に妨げられて渤海への入込が少かつたことは充分考へられるが、其れが直に秋漁の範圍に及び春の不漁に比例して同樣に著しい不漁であらうとは二一天作の五で結論に一足飛びに飛ぶことは躊躇する六月以後の天候は順調であるからして幾分恢復して來たとも考へられるし今後渤海中央の冷水域が黃海に追ひやられ產卵後の旺盛な索餌運動を妨げない限り多少の不漁は免れ得ないにしてもさう悲觀するにも及ぶまい、當てにして當てにならないことだが東鯛で鯛漁の來る秋のシーズンを待たう、そして其間に旅順丸は海洋の氣象其他の調査を充分遂げやう。

◇

最後に斷つて置くが以上の觀察は主として水溫からの見方であつて發動機船の濫獲と言ふ方面からは今暫く事實を見ての上にしやう。——（文責記者にあり）【終り】

金州

金州林檎は豐作 例年より五割增
果樹業者はホクく

栽培面積千町歩と言ふ滿洲に於ける絕對的廣面積を有する金州林檎は昨年は開花枝付共餘り思はしくなかつたのにかゝはらず暴風或は降雹等と不慮の天災に逢ひ不作の浮目に合つたが今年の出來榮えは甚だ良好で此の儘順調に結實を見る時は例年より約五割增收を見るべく果樹園業者は大ホクく〜の態である

金大間乘合開始期延期

七月一日より運轉する事になつて居た滿電の金州大連間乘合自動車は道路改修工事の都合上延期の止むなきに至つたが多分本月中旬となる模樣である

櫻桃出荷盛りを過ぐ

金州に於ける特產果實の一つである櫻桃も盛りを過ぎて今明日中に收穫もお名殘りとなる模樣であるが元來櫻桃は永く貯藏する事が出來ぬから果物市場を賑やはすのも茲一週間そこく〜であらう

安東

斤量不足粕問題依然紛糾解けず

安東輸出貿易商組合は曩に數十日間の紛糾の結果斤量不足粕に對する警告の回答文を發したが、同回答文中には公稱斤量四十六斤に充たざるものは賣主立會の下に不足分に對し現金を以て補塡する旨附記したが、朝鮮側の意嚮としては公稱斤量四十六斤に充たざるものは不正品なりとの見解のもとに取引を拒否する模樣で右の趣き重ねて警告を發する筈であると謂はれて居る

馬賊捕る
勇敢な警官

二十六日午前五時十分頃鷄冠山警察官吏派出所に同地北町海豐棧方長男于珍（四〇）及び商務會副會長姚寶臣（三五）の兩名が只今私方に一支那人が來り饅頭八十錢程を買求め南行したがどうも

擧動

が怪しいとの旨届出たので石田警部補は直に當直中の原巡査及び朱巡捕が第二列車の取締を終へ歸所したるに依り直に兩名をして鐵道線路に沿ひ三道橋子より追跡せしめたる處、午前五時半頃鷄冠山南端第一鐵橋上にて該支那人體の者を認め格鬪の上逮捕派出所に同行取調べたる處此奴は原籍遼寧省鳳城縣第四區廟嶺溝現在は同省西豐縣城內にて露天業を營める王貴臣（三二）にて昨年六月十一日鷄冠山附屬地を襲擊し金品を強奪及び人質を拉致し日本町を通過南方に引揚んとし小學校西方の河川に差掛りたる際、日本軍隊と衝突金品は奪還され死

人質

は本隊に引渡し再び

傷數名を出し逃走したる馬賊頭目で當時も此奴は一國海交の部下にて當日本軍隊に向つて抵抗したる者で、其の外莊河縣下に於ても二回強盜犯罪を行ひ冬季は西豐縣に潛伏草木の繁茂期に至り馬賊に變ずる奴にて亦々馬賊に變り一儲にせんと二十五日第二列車にて草河口驛に下車し其處より徒步にて鷄冠山迄來り前記海豐棧方に立寄つたのが運の末盡に我が

官憲

に逮捕されるに至つたものである身柄は安東警察本署に引致取調べを進めてゐるが之に依り連類者も續々逮捕する事が出來るであらうと思はれる尚右犯人を逮捕せし同地派出所石田武警部補、藤原義明巡査及び朱長明巡捕の勇敢なる行動に就いて同地の市民は多大なる感謝の意を表してゐると

新義州高普生飲食店を襲擊

新義州高普生徒の不穩事件は第二次檢擧を行ひ此の程取調を終へ一味の者を檢事局に送致したが、其の後同校の生徒が府內老松町某飲食店にて喧嘩をなし大擧同飲食店を襲擊したる事件を起したので、新義州署では秘密裡に活躍してゐるが或は近くこれに端を發し第三次檢擧を見るかも知れぬと、因に同事件の背後には相當有力者の尻押があるらしいと觀られてゐる

安中の野外教練

安東中學校では來月二日から六日まで五日間に亘り鳳凰城附近に於て同校四、五年生約百名の野外教練を實施すると

モヒ密輸犯捕はる

寧邊郡梧里面營時洞一七八農鄭環錫（三〇）は二十八日午前中安東縣からモヒ三十五グラムを二十八圓にて買求め之を黃海道方面に賣りに持ち行くべく南行列車に乘つて居た所を石下驛附近にて新義州署員に逮捕され本署に連行取調を受けてゐるが、同人はさきに治違法に觸れ懲役五年に處せられた前科者で身分不相應の金時計を所持し居る所より餘罪ある見込で嚴重取調中である

教育家陸上競技豫選會出場選手決定

滿洲教育二十週年記念關州東內外教育家の陸上競技並にテニス對抗試合は七月二十三日大連譚家屯の大運動場で開始する事になつてゐるが、關東州外にて同對抗試合に出場すべき選手決定の爲め來る七月七日奉天南滿中學堂校庭に於て豫選大會を開催する筈で、主催者側よりの指名で安東中學校選手宗本、卒島、緒方の三教諭及び井東事務員の四名で尚女學校よりの選手は今の處大浦教諭一名だけであるが指名以外にも可成選手を出場せしめて呉れとの事であるから相當申込者があらうと

教育展役員決定

滿洲教育二十週年記念教育展覽會開催につきこれが打合せの爲め大連滿鐵本社學務課に出張中であつた安東中學校長代理鈴木教頭並に大和小學校牛島校長の兩氏は二十七日夜歸校したが、更に三十日大和小學校に於て鷄冠山、安東各小學校の關係者會合の上各役員を決定し夫々係員を選定した、因に教育展覽會開催期日は九月二十八九日兩日開催の筈

撒水自動車のリレー競爭

安東滿鐵地方事務所地方課に於ては撒水自動車のリレーを催し優勝者には賞品を授與する事となつたが、速力は一時間十哩の市內規定速力を最大限度とするもので目下地方事務員より參加希望者を募集しつゝあるが締切期限は七月五日

警察對記者團野球

安東警察署の組織せるスポンヂ野球團は記者團に試合を申込んで來たので二十九日午後四時半から大和小學校グラウンドにて試合を開始したが左の如きスコアーにて記者團惜敗した因に警察團のメンバーは左の通り

回數	一	二	三	四	五	計
記者	二	三	一	一	〇	七
警察	三	一	〇	〇	四	八

丸山 武賀田 平山 國志 橋見 池田 德丸 岡村 武藤 小松 國武 矢野 岡田 德高

國際支店長着任

國際運輸會社安東支店長北村文藏氏は過般來辭任申出中の處今回同支店長に哈爾賓支店詰大江新氏が任命され廿八日夜着任、北村氏は同社辭任と共に近く成立する朝鮮の合同運送會社に重役として入社する事に內定して居る模樣である

安東片々

◇安東競馬クラブは二十九日午後二時より陸海樓に於て總會を開き會長副會長及び各役員の選擧を行つた

◇南滿瓦斯會社安東支店次席江濱實次氏は今回鞍山支店に榮轉する事となつたが離安に際し安東幼稚園に金一封を寄贈した

◇安東守備隊では先般の鷄冠山馬賊襲來の實況其の他の活動寫眞を三十日大和小學校で開催すべく種々準備中の處、宣傳其の他の關係で二、三日間延期したと

◇新義州實業野球軍は強剛平鐵軍の遠征を迎へて三十日午後三時より平北公設グラウンドにて一戰を交へた

開原

人事

▲高尾採公理事長 三十日午前六時十五分着列車にて着任
▲山澤靜一氏 三十日午前十一時四十分發列車にて赴任

夏期兒童聚落

開原小學校兒童の海濱聚落並に溫泉聚落は左記日取りにより參加する事に決した

海濱聚落男女兒童二十七名監督教師二名付添、七月十六日第十八列車で出發、七月廿三日第十七列車で歸着

溫泉聚落男女兒童十二名、監督教師二名付添、七月十六日第十六列車で出發、七月卅一日第十五列車で歸着

大祓式

開原神社に於て三十日午後七時三十分大祓式を執行した

子規全集

哲人の跡づけに頭自ら下る

碧々のわれめわれめや山つゝじ
門しめに出て聞いて居る蛙かな
のりあげた舟に汐まつ凉かな

森深み山鳥なきてたまたまに人に逢ふさへ淋びしかりけり
若松の芽だちの綠長き日を夕かたまけて熱いでにけり
薩摩下駄足にとりはき杖つきて萩の芽摘みし昔おもほゆ
靑松の横はふ枝にふる雨に露の白玉ぬかぬ葉もなし
若松の立枝はひ枝の枝毎の葉毎に置ける露のしげけく

超人子規が不治の病と強く闘爭しつゝ、自らを奥づけ、隨筆俳句短歌を大成し、よく芭蕉にも勝る業績を擧げたことは萬人讃仰の的である。しかもその幽寂なる家庭に吐血を靜に抑へながら一母一妹と自然に心ゆくばかりひたり、いくたの高弟と死の際まで藝術を語り琢き大哲のごとく往生したことは眞に千古に傳ふべき美談である。彼の高き行爲、生命にかけたる高き藝術は鬱々千里の林相を仰ぐが如く崇高自ら頭の下るを覺ゆ。此一全集の藝術的に民族的にどれほどの役割を果すことが出來るかは諸君の容易に判斷の出來るところであらふ。

子規の人格を仰げ

今日を將來する原動力

醫學博士　齋藤茂吉

子規全集によつて子規の全作品に親しめば親しむほど、今更ながら子規の偉大さに打たれる。どうしても三十六歳の若さて此の世を去つた人とは思へない。……現在の私たちから見ても子規の生涯は偉大なる事業そのものであり、今日を招來した潑剌たる原動力であつた。

芭蕉・蕪村・子規

與謝野寛

芭蕉、蕪村、子規と云ふ順序て、俳壇の大家たるとに何人も異論が無いと思ひます。私は幸に同時に生れて、子規先生に御直接を得、後進として御指教を受けたことのあるのを忝く存じて居ります。また歌壇のためにも明治の改革者の隨一人だとして尊敬して居ます。

新らしき苗木

文學博士　笹川臨風

創造力に豐かなる、淸新の氣の橫溢せる、子規居士の偉大なるは、常に新しい苗木を舊領土に植ゑつけるにあつた。三十餘年前を追懷すると、どつしりした、それでゐて精悍の氣が眉宇の間に搖曳する居士の風丰が髣髴として眼前に往來す。

子規は我が懈怠に鞭つ

平田禿木

……この全集を坐右において、自分は實に得難き激勵と慰めとを得てゐる。あの病軀を以て、何うしてこれだけの仕事が出來たらうかと、自分は始終我が懈怠に鞭つのである。その句に入り、歌に詠まれる世界が私達に親しみ深い。

夏帽や吹き飛ばされて深に落つ
夕風や白ばらの花皆動く
石榴や水平かに若楓
餘命いくばくかある夜短し

自然は子規に生き輝く!!

毎巻　短冊、原稿、書簡、草稿等を附し、見返しは居士の寫生畫中の逸品「青梅」「櫻の實」を精巧な色刷として用ゆ。裝幀清麗無比。

—實物縮寫—

前版に漏れたる未發表の原稿をも悉く收容す。

子規の藝術を仰げ

第一卷　俳句全集(上卷)
第二卷　俳句全集(中卷)
第三卷　俳句全集(下卷)
第四卷　俳論及俳話(上卷)
第五卷　俳論及俳話(下卷)
第六卷　歌論歌話及評論
第七卷　和歌新體詩漢詩
第八卷　隨筆(上卷)
第九卷　隨筆(下卷)
第十卷　小說、紀行、小品
第十一卷　少年時代創作篇(上卷)
第十二卷　少年時代創作篇(下卷)
第十三卷　編著(上卷)
第十四卷　編著(下卷)
第十五卷　書簡(上卷)
第十六卷　書簡(中卷)
第十七卷　書簡(下卷)
第十八卷　日記及年譜(未發表作品を悉く網羅)

第一回配本　第八卷　**隨筆篇**　壹千五百七十四頁

愈配本開始

最寄書店へ至急お申込願ます。

全十八卷　一冊壹圓

締切七月廿日

内容見本進呈

東京市芝區愛宕下町　**改造社**　振替東京八四〇二番

コドモページ 成績紙上展覧會

陽子ちゃん

大廣場小學校四年　前澤誠一

僕は陽子ちゃんが大すきです。陽子ちゃんにはちゃんとこと葉が出來て居ます。お菓子といふことは「マンマ」と言ひますし、物をなをすといふことは「ナンナイ」といふ、又たたくといふこと葉は「チャイ」といひます。此の間聖德街から歸る時、陽子ちゃんに「さようなら」といふと「アジ」といひました「しつけい」といふと手のゆびを耳のあなの中に入れてしつけいをします。ほんとうにかわいらしいのでいつも聖德街に僕が行つた時、又內に陽子ちゃんが來た時はいつも陽子ちゃんと遊びますけれども此の頃は學校でこうさがあるので陽子ちゃんと遊ぶひまはありません。又陽子ちゃんのかしこい所は僕が「兄ちゃんは」といふと僕のはなをさします。そんな所がほんとうにかしこくてかわいらしうございます。

奉仕作業

聖德小學校四年　田中裕

今日書方がすむと先生が「今度の時間は奉仕作業をしやう」とおつしやつた僕はすぐにうはぎをぬいでからだをかるくしてとんで行つた。僕はかごをかついで來て大本君と土をはこんで來た。くりかへし〱して居ると大本君が急に足がいたくなつたといつたので、今度は江口君とはこんで居たが、江口君は。へたばつたらしいので、僕は江口君に「君やすみたまへ」といつて今度は奧野君とした。その內に僕までもへたばつたので、ちよつとやすんでまたはこんで居た今度こそはへたばるまいとがんばる、すると今度はかたがいたくなつたのですこしづつはこんだ。いくらしてもすこしづつはこぶのですぐにたまらない、ほかの人たちは一しやうけんめいではたらいてゐる。まけるかと思つてまたがんばる、その內に奧野君もへたばつたらしい。僕は「奧野君がんばりたまへ」と力をつけてやるすると又がんばつて土をはこぶ。その內に黑ざは先生が土をたくさんいれてくださつたので今度はばい重たくなつたので、奧野君とがんばりながら行つた。その內に先生が「きつかつたらもう御はんをたべてもよろしい」とおつしやつた。すると關本君が「うまいうまい」といふてむねをたたいて居た。僕もやめてかへつた。

さびしい夕方

奉天彌生小學校尋五　福士重雄

太陽は次第々々に西の方にかたむいて行く。もう半分以上向ふの森のこずゑにかくれた。ふみこみに腰かけた洋車夫は客待ち顏で、人々に聲をかける。夕陽は赤く又金の様である。子供等は手をつないで我が家へかへつて行く。苦力は今日一日の勞働のつかれも忘れて樂さうに大聲で話をしたり歌をうたつたりして行く。平安通から見通した停車場の方は大分うす暗くなつた。人通も少い。電柱の電燈が「ぱつと」ついた烏は「かあかあ」と鳴いてプールの方へ行く。自分の家へ歸るのだらう。空は次第に暗くなつて星は空一面に寶石をちりばめたやうに輝いた。青白い三日月がうすくあるかなしかに西の空に見える。そこらはしんと靜まつて時々犬のほえ聲がする。このあんばいでは明日も又天氣がよからう。

さかなつり

金州小學校尋二　柳生舜司

きのふおとうさんとぼくと二人で、そうまさんの、いけにふなつりにゆきました、はりにみみずと、うきをつけて、いけになげこみますと、しばらくすると、うきがしづみましたからさををあげてみますと、うなぎがつれました、又みみずをつけて、なげこみますと、こんどはふなの小さいのをつりました、おとうさんは大きいふなをつりました、又ぼくのうきがしづみましたから、ぼくがさををあげると、こんどはうなぎが二ひきつれました、おとうさんは、うなぎをつりました、ぼくがおとうさんにまけました。さかなつりはおもしろうございます。

ひつこし

大廣場校三年　河村良子

五月十九日にろうこたんにひつこしました。はじめはどうぐをみんな外に出しました。そしてお父さんが「かもつじどう車を二だい出して下さい」といつて電話をおかけになりました。少しすると、かもつじどう車が二だい來ました。にもつをじどう車につみあげてしまつてから、私たちの乘るじどう車を又電話でよびました。しばらくたつてじどう車が來ましたから、それに乘つて、ろうこたんへ向つて行きました。ずん〱行くと、かもつじどう車はおもくて、私たちのじどう車よりおくれてしまひました。じどう車はうちの前でとまりました。それから少したつてかもつじどう車が着いたので、にもつをみんな下しました。そしてお兄さんにぶらんこをつるしていただきました。

書方

常盤小學校一年　久保田三郎

清風入梧升　トキワ一年 久保田三郎

私の左の手

嶺前小學校四年　吉川ツル子

私の左の手は、少しまがつてゐます。私はふしぎに思つてお母さんにおききしておどろきました。其のわけと言ふのはかうなのです。「私は生れた時死んでゐましたそれをさんばさんが私の足をもつてさかさまにして、ひどくふると手のすぢがはづれたのですそれでおどろいて、びやういんへいつて手を見てもらひ、はうたいをして、そのはうたいをくびにかけてゐますと、だん〱手はなほつてきましたが、手のすぢがひつぱられてまがつてしまつたやうになつたのださうです。私はうそだと思つて何度もきいてみましたがいつも其のお話をして下さつて、うそではないとおつしやいます。それからどうしてもまつすぐにならないので四年になつて或おきゆうの先生に見てもらひそれから、毎日々々おきゆうにかよい、內へかへつてからはしほゆでしつぷをしてゐました。それから二箇月ほどすると、先生はどこかへ行かなければならなくなつたので、今度は內でお母さんにおきゆうをしていただかねばならなくなりました。私はなんだかいやなやうな氣がしました。それは內ですると兄さんや弟やお父さんなどが見てゐるから、もしあついと言ふとわらはれるやうな氣がしたからです。それでもいつもすえてもらつて、しつぷをしてゐましたが、此頃は內へおきやくさんがたくさんいらつしやつて、いそがしいのでおきゆうをすえるひまがないし、しつぷも出來なくなりました。左の手はいつまでたつてもまつすぐになりません。體さうの時など手を左右にあげると左の手のかけがへの字のやうにうつります。私はそれを人が見るといやなやうな氣がします。

風景（水彩）　日本橋小學校五年　角藤代二

山本のをぢさん

龍岳城小學校尋三　形田幾代

山本のをぢさんは內地から來たんです。大へん氣がやさしくて、ふとつてゐます。頭がはげてゐて、ピカピカ光つてゐます。顏はしわだらけです。をぢさんは家の畠の仕事をしてゐます。私はをぢさんの事を「でんとういらず」とあだなをつけやうとさうだんしたら、幸子さんも、すみちゃんもさんせいしました。それからあふたびに「でんとういらずのをぢさん」と云ひます。

この間もろうかであつたから「でんとういらずのをぢさん」といつたら、ピカピカの頭をこすりこすりニコニコの顏をして追ひかけて來ました。私は、にげながら「でんとういらず〱」といつて二階段の下にかくれました。

いくら、あだなを云つてもおこりません。時には私が「でんとういらず」と云はぬさきに、頭をこすり〱ニコ〱顏で「早く（でんとういらず）と云へ」と云ふ様なかつこうをします。私は山本のをぢさんが、すきです。此間も、羊かんを下さいました。

こんなやさしい山本のをぢさんでも、おこる時はこわいです。此間、ボーイが、ぬれたゾーキンで廊下をふいてゐたら、をぢさんが、目をつり上て、大きな聲で、どなりました。

旅順遠足

松林小學校五年　稲葉六郎

五月十七日は、僕等のたのしい旅順東鷄冠山北堡壘への遠足であつた。汽車はゆるやかに驛をはなれた。次第になつかしい大連も小さくなつて行く、と思つてゐる間もなく、沙河口驛についた。しばらくして、また汽車は動き出した。龍頭で汽車から下りて、徒歩で東鷄冠山北堡壘へと向つた。赤土道をふみながら四方をながめた。頭の中で「大連」と比べて見るとやつぱり大連がいゝなあ」と思つたり「旅順が勇ましいなあ」と思つたりした。山々の綠色の松の美しさ、白くそびえ立つてゐる各堡壘の記念碑などが目にうつる。なんともたとへやうがない、うつくしさたのしさで、目も心もおどつてきた。東鷄冠山について、おぢさんから戰爭のお話を聞いた。僕の心は、自然にひきしまつて勇氣がみち〱て來た。

うちのあかちゃん

鄭家屯小學校尋二　鵜原ミツヱ

うちのあかちゃんは、二ほん小さいはがはえました。うちのおとうさんがあかちゃんとおふろにはいつて、あかちゃんが、あがつてきてきものをきせないでねかしておいたら、うちのあかちゃんが、はいはいをしようとしましたが、はいはいができないから、すこしなきだしましたわたくしは、うちのあかちゃんが、おほきくなつてあるきだしたらかはいらしいとおもひますうちのあかちゃんのなまへはじゆん一郎とまをします。わたくしはうちのじゆん一郎がだいすきです。そしてうちのじゆん一郎がおほきくなるのがたのしみです。

初夏の夕方

大正小學校五年　黑岩昇

初夏の夕日はだんだん沈んでうす暗くなつて來た。所々に大きな工場の煙がしづかに上つてゐる。先刻までやかましい程であつた雀も、鳩も雞もどこかへ歸つて行つてしまつた。ああ今は六時かしらん。工場のきてきがぶうつとなつた。にいやの馬車がごとごとおとをたてながら向ふの方からかへつて來た。たぶん我家に歸るのであらう。しばらくすると、仕事をおへた工場の人たちが何か話ながらかへつて行つた

夜の大空

遼陽小學校尋五　小池幸子

夜の大空をぢつと見てゐると、大きな大きな海見たいに見えます。はてしもしれない遠い所までこの海のような大空がわたりたわつてゐます。深さもしれないあをい海夜の大空はほんとうに恐ろしいやうな氣がします。たくさんうかんでゐる金の星そのきれいな金の星を深い〱海の底から私はなつかしげに見つめてゐるのです。さう思ふとさびしくて〱たまらなくなつて來ます。

船客四百名の損害十萬圓賠償を要求
海事審判の決定後に　ばいかる丸坐礁は船長の失策

ばいかる丸の坐礁に遭難した關東廳經理課布勢理事官は卅日歸廳したが、當時の狀況と船客の損害賠償問題に關して語る

ばいかる丸の坐礁は全然不可抗力といふ譯には行かない大黒島に坐礁したといふ瞬間船窓から覗ると岩礁より十數間の地點に船のあることが、假令濃霧であつたにせよ、能く發見することができたのである、從つて船長の失策であることは當然で、乘客四百名は海事審判の結果を俟ち損害賠償を提起することに決し十六名の委員中自分も選ばれたが、事務室は下の關の商船會社內に設け新聞記者の後藤某外二名に辯護士が事務を執つてゐる、損害額は約十萬圓に達する見込みである

恐しい傳染病續々發生の傾向
罹患者は邦人に多い　一月以來の流行狀態

傳染病の流行期に入り大連署でも之れが豫防のため各戶に石油乳劑の無料配付を行ひ蠅の撲滅を圖り戶口調査を綿密に施行して患者の早期發見に努める等懸命になつて力瘤を入れてゐるが、寢冷、果物、清涼飲料水等の誘因によりなほ續々發生の傾向にあり一般家庭を脅してゐる、一月以來六月末までの赤痢、腸チブス、パラチブスその他の傳染病の流行狀態は

發生患者 が日本人二百七十五名、支那人二十名その中全治したのが日本人百九十名、支那人八名で、死んだもの日本人三十九名、支那人七名に達し現在なほ日本人四十八名、支那人三名の患者が療病院や滿鐵醫院に呻吟してゐる、その內容は

▲赤痢發生三十九名、全治十六名、死亡十一名、現在十二名▲腸チブス發生八十八名（內支那人一名）全治五十五名、死亡二十一名、現在十一名（內支那人一名）▲パラチブス發生十名、全治七名、現在三名▲痘瘡發生二十三名（內支那人九名）全治十五名（內支那人二名）死亡五名（內支那人四名）現在三名（支那人のみ）▲猩紅熱發生六十四名（內支那人三名）全治四十三名（內支那人一名）死亡三名（內支那人二名）現在十八名▲發疹チブス發生九名（內支那人六名）全治八名（內支那人五名）死亡一名（支那人）▲流行性腦脊髓膜炎發生九名、全治四名、死亡三名、現在二名で、支那人より日本人に多い事は注目に價する、なほ

死亡率は 最も多いのが支那人の痘瘡で四十四%その次が流行性腦脊髓膜炎の三十三%赤痢の二十九%腸チブス二十四%の順序で支那人の痘瘡は種痘の行き屆かぬ結果であると

練習艦隊發航

【橫須賀一日發電】野村中將指揮の練習艦隊磐手淺間二艦は少尉候補生を乘せて一日午前十一時橫須賀發遠洋航海の途に上つた同艦隊は南米を經て十二月二十七日橫須賀歸港の筈

大連水上署で　水泳の講習

大連水上署においては來る十一日より廿三日まで同署所有平安丸において同署員の水泳講習を海猫屯において開始するが蓋し警察水泳講習本年度の皮切りであらう、しかしてこの講習期間中において鑑田警務主任係となつて人命救助の演習を行ふと

不平を懷く者の中傷宣傳だらう
水產會には不正無し　小川關東廳殖產課長談

昨夕刊所報の關東州水產會不正事件に關し關東廳小川殖產課長は語る

水產會の內部に不正な事件が潛んでゐるといふ風評は以前から聞いてゐたので最近嚴重調査を行つたが左樣な事實は寸毫もない

古船を 購入して外部を塗り替へ新造船を裝ふ發動機漁船に對して補助金を下附した等と傳へられてゐるが補助金を下附するのは水產會ではなく關東廳に於て下附するのであるから其間不正などがあらう筈がない、又動力の檢査も關東廳で嚴重行つてあり、造船に際しては關東廳指定の信用ある造船所で製船したものに限り補助金を下附してゐるのである、そして新造船に補助金を下附する場合は嚴重なる試驗と檢査を行つた上、行ふものであつて、この間

不正の 介在す餘地なきものと確信してゐる、これは恐らく先般水產會常議員の選任に洩れた方面の中傷的宣傳だと思ふが、斯かる浮說が眞しやかに傳へられることは健全なる關東州水產界發達のため遺憾である

草分丸船長ら罰金を喰ふ

航行權を犯し剰さへ自船の快速を利用して他船を航行中グルリと一周して端なくも問題を起した甘井子回漕會社の草分丸船長李子燕（三〇）監督藤田拓（三〇）の兩名は水上署より警察犯處罰令に從ひ罰金各十圓に處され草分曾長山田作太郞に對し嚴戒するところあつた

商人が一番多く次は官吏と軍人
職業別の郵便貯金

關東廳遞信局管內の郵便貯金は年々不景氣知らずの增加をなしつゝあるが之を昭和三年度末現在の預入高につき各職業別に見るに預入者數は商業最も多く總數の三割一分を占め金額三割六分九厘にして即ち何れも三分の一を占めて居る商人に次では官吏軍人で人員二割八分七厘金額の二割八分五厘諸業者の被雇ひ職工一般の使役人の人員一割六分五厘金額一割四分四厘等である、然るに預入者一人當平均預金高に就て見るに社寺其他團體の百七十一圓の最高にして農業の百二十三圓無職業の百四圓、漁獵業船夫の九十八圓等之に次ぎ商業の第六位となるのも面白い現象である

滿鐵の勤務時間

滿鐵では昨一日より例年通り午前八時出勤、午後三時退社を開始した

奉大間を股に廿六回の竊盜
第七博多屋襲ひの賊

第七博多屋に侵入し逮捕に向つた大連署梅村刑事に發砲して逃走した強盜、竊盜、銃砲火藥取締規則違反の大連逢阪町一八三前科六犯大澤俊三（四〇）に關してはその後續き

取調中 であつたが、昨年十二月八日市內西公園町二二內山三郞方より二枚續き毛布一枚時價三十圓を竊取したほか十五日武藏町郵便局金庫內小使室に忍び入り自己の服裝を變へん爲め小使室にあつた中馬吉藏所有の黑小倉服一着を竊取して變裝してゐるを發見逮捕されるまで奉天、遼陽、大連を股にかけ前後二十六回時價一千五百圓に相當する物品を竊取した事實を

自白し た、近く檢察局に送致される筈であるが同人は係官に對し「前後二十六回も罪を重ね、未だに改悛の情なく罪を犯して一般社會人や親兄弟に迷惑をかけ誠に申譯がない、若し私の身が寸斷にされても罪のつぐなひが出來るなく極刑を受けても潔よく服罪する心算である」と語つてゐた

宵の飛驒町に辻强盜現る
頸を締め所持金强奪

市內小崗子久壽街二七安惠西棧方店員楊萬祿（二〇）が一日午後七時頃市內奧町裕豐棧からの歸途、飛驒町六十五番地先に差かゝつた際一名の支那人が後方より飛びつき頸部を締め氣絕せしめた上空地に連れ込み所持の金票廿五圓、小洋七十一元を强奪逃走したのを程經て通行の苦力二名が發見手當を加へ蘇生せしめ日本橋派出所へ屆出たので大連署で手配し犯人搜索中

交通事故を防ぐために永久的安全ラインを施設
いよいよ大連市內目拔きの交叉點に

大連で一番人通の多い浪速町と大山通との交叉點及び浪速町と伊勢町との交叉點の車道にこの頃白線を引いてゐるが、これは最近頻々として起る交通事故からしてこれを除去する爲めにまづ浪速町大山通の車道四辻に幅九尺の煉瓦を埋込んで「こゝをお通り下さい」と云ふ具合にする運びとなつてゐるが、更に伊勢町と浪速町の四辻にもざつとこれと同樣の安全道路の目標をこしらへることゝなつてゐる、この二ケ所に他の道路修繕の場合もこゝ丈は影響を受けない永久的安全ラインをこしらへるのに千二百圓の費用を投ずることゝなつてゐるが追々日本橋常盤橋等の交叉點にも施設する筈ださうで、まづこれで大連の繁華な二つの道路は整理がつくことゝなつたわけである【寫眞は浪速町交番前の安全道路工事】

大連の失業者

求職申込み月に百五十名位
求人は平均百名內外　社會館職業紹介所調べ

◇…靑、赤色とりどりに華やかに艶めかし灯影の波を縫ふて純白のエプロンが胡蝶とばかり、ひらひらと搖曳する私語、談笑、嬌聲、ジャズの亂舞に文化は爛熟を誇る一面に、東京市の本所江東職業紹介所で仕事にあぶれた勞働者達が所員を襲つて負傷させたのはつい先頃のことだ。內務省社會局でも街頭に橫溢する知識階級の失業者の爲めに蹶起して愈大々的救濟計畫を樹立し六月に入つて、東京市では知識階級の授產所設立を決定し、他の五大都市でも同樣の計畫を進めてゐる

◇…現代生活の癌腫である就職難に於いては生活苦の暗影が大滿蒙の表玄關、模範的近代都市のわが大連にどう映るか?。常盤町に新設された社會館の職業紹介狀態を見ると、大正十一年の求職者數男性千六百十九人、女性百八十八人の合計千八百〇七人が六年目の昭和二年には男性千九百四十二人、女性二百九十二人の合計二千二百三十三人で六年間に倍數餘り、流石に內地のそれに比べてはまだまだ寛濶さが認められるが、就職者は昭和二年度八百五十八人だから千三百七十五人は立派に失業した譯で、昨年中の成績は前年度と大差が無い。今年に入つては平均毎月百五十人內外の求職申込中八十人足らずは日本內地人、女性がその二割で十七八人を占めてゐる。內地からの渡航者は約半數の四十人內外と印を捺したやうに略決つてゐるのも面白い

◇…求人數は平均九十人から百人位だが種々双方の希望條件もあるから就職率はあまり芳ばしくはないらしいが、小店員、外交員、女中さんなどは現在の申込では供給し切れない程殘が生えて飛ぶ盛況、一方、二十歲から卅歲前後の青年求職者は申合せたやうに店員乃至は事務員希望で安易に就く——共通ではあるが警戒したい人間の弱點を脫却してゐない。所謂階級の失業者が中等學校卒業程度に限られそれも極少數なのは高級社員が全部內地から直輸入（?）の爲めだらう、最近高等女學校卒業生が七名ばかり紹介所の手で就職したのは目覺めた女性の經濟的獨立の機運を物語るので注目に値する。

◇…支那人の求職者は毎月三十名餘りだがいづれも月給五圓から十圓で女中代りの日本人の家庭で歡迎されるが勤續成績が頗る惡いとある、罪の一半は雇ひ主にもある模樣だ古関主任は財界不況の深刻化は當所の統計が裏書してゐます、然し求職者の中でも慢性失業者といふべき漂泊性に富んだ連中は絕望です

概して相當の年齡で失職するのはやはりそれだけの缺陷があるやうで無系累者が多いのも無責任だからでせう、支那人の失業者は今後益々增加の傾向でこれは重要な社會問題として現在から對策に留意すべき問題でせうと語つたが、日支人を通じて下級失業者の暗黑面には隨分刺戟的場面が展開されるらしい。

◇…當世流行の右翼左翼反動等々包括めて生活受難からは餘りにも離れ物至上の見解たること勿論だが、最近大連でも浪速町の某商店で一名の店員募集に二十數名の專門學校卒業生が殺到したといふ人生の桎梏は刻々に食ひ入つて行くやうだ。

發聲明瞭で喝采を博す
滿洲で出來たトーキー

滿洲の風物撮影のため來連中の米國フオックス社のトーキー撮影隊は一日協和會館に於て滿洲にはじめて完成された發聲映畫を紹介した、午後四時からフオックス社主催で招待會を催し午後七時半からは大連滿鐵社員俱樂部主催で一般ファンの爲めに公開試寫會を催した、上映々畫はいづれもムーヴイートン（フイルム式發聲）のニユースリールで撮影機をスクリーンの下に据えつけて映寫したが、映出は大成功で鮮かにシンクロナイズされて發聲は頗る明瞭で大喝采を博し參會者を驚かした

不具の老人保護願ひ
大連署で送還

千葉縣君津郡湊町更和、當時大連社會館止宿川名城之助（六一）は一日身の保護を願出た結果、大連署の救恤基金中から二十五圓の旅費を支給され二日の香港丸で遠緣に當る者の住む東京へ送還される事になつた、城之助は元奉天に居住し建築請負業者の許に傭はれてゐたが昨年三月木材で左足を負傷しソレが原因で遂に切斷の止むなきに至り、加ふるに眼疾に罹り盲目に近きまで昂進したので附近の者の同情で漸く大連まで辿りつき前記社會館に止宿してゐた者である

看護卒歸還
けふ香港丸で

駐滿第十六師團並に衞戍病院の滿期看護卒磨工卒約百八十名は一日午後三時及び同六時着列車で來連關東倉庫に一泊したが同磨工卒看護卒は二日出帆の香港丸にて歸還の途につくから見送り人は午前九時の乘船前迄に埠頭待合所に集合されたいと

看護婦講習講師

大連醫院の看護婦講習所を卒業したものは有資格者であることを關東長官から認可されたが、一日衞生課に右醫院講習所の講師及新入所生を報告して來た、講師は醫院長岩島覺三、醫師中部進一、豐田東、荒井朝子、田島靜代兩女醫、藥劑師として藤野陽四郞の諸氏で新入生は六名である

佐賀縣人會

大連佐賀縣人會では三日午後四時半より泰華樓に於て總會を兼ね目下來滿中の佐賀縣選出代議士石井次郞氏の歡迎會を開催することゝなつたが、出席者は信濃町六三辻弘濟醫院（電話七〇五五番）に申込んで貰ひたいと

けふのラヂオ

昭和四年七月二日（火曜日）

自午前十一時　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）

自午後零時三十分　相場（特產、錢鈔、各地相場）ニュース

自午後三時三十分　相場（特產、錢鈔各地相場）ニュース

自午後三時五十分　野球連絡放送（滿俱對國大二回戰）

自午後七時三十分

一、ニュース

二、支那語講座「實用支那語會話」滿鐵學務課秩父固太郞

三、家庭講座「胚芽米の營養素に就て」植田龍藏

四、三曲「嵯峨の秋」（尺八）牟田露風（三味線）富森大檢校（箏）高木夫人

五、端唄「數曲」（彈語り）田中しげ々

六、支那劇「打魚殺家」運東俱樂部員

七、料理獻立

八、天氣豫報

愛慾の窓 （26）

戸川貞雄作
淺枝次朗畫

生活の淵（六）

久彦も、ふと映畫を見たい慾望を感じて來たので、何うせ行くのならばと、その後を跟けてゆくつもりではなかつたけれども、仁科美知子の行くと云つた邦樂座へ行く氣になつた。そこから丸ノ内のビルディングの間々を劃してゐる鋪装路を通つて、東京市役所の前からガードに沿うてゆけば、ものゝ十五分とはかゝらずに、數寄屋橋畔に在る邦樂座前へは出られるので、久彦は暮れかゝると同時に出て來た涼風を、街路樹の銀杏の梢に仰ぎながら、ぶら／＼と歩いて行つた。

彼の氣持は、珍しく晴れやかであつた。

思ひ切つて彼女に名乘りかけたことがよかつたのだと思はれた。一仁科、美知子と云つたな、さう云へば箱根で、美ツちやん／＼と皆に呼ばれてゐたやうな記憶がある。

久彦はひとり微笑を洩らして、口笛を吹きはじめた。近頃にないことであつた。彼はいつでも少し俯首き加減に、そして絶えず憂鬱さうに眉をひそめ、きつと唇を結んでゐるのだつたが。

――この明るさは何處からおれの心に射して來たのか？あの美知子といふ少女の笑顔や朗かな聲からか？

すると自分は――あの少女に戀ごゝろを藏してゐるといふのか……？否、否！久彦は頭振を振つて否定した。亡き戀人の幻影がさう容易くは消え去りさうには思はれなかつた。たゞ彼は、意識すると否とにかゝはらず、何うかしてその幻影から逃れようとしてゐる自分に氣付いてゐた。だからその幻影に髣髴たる友永の妹倭文子の問題は、そのまゝそつと觸れずに置きたかつたのであらう。友永からその後催促もないのをいゝことに、彼は小森の方の調査もそのまゝ放擲してしまつてゐたのであるが、顧みれば、今日が丁度約束の一ト月の切れる日ではないか。友永は今夜あたりホテルでおれの訪問を心待ちしてゐることかも知れない……が、或はまたおれから何らの報告も無いことをむしろよろこんで、彼等兄妹は着々婚禮の準備をすゝめつゝあることかも知れない……そんな風にも考へながら、久彦はやがて邦樂座のポーチに入口の階段を踏んだ。

折柄、スクリーンの面には、何か喜活劇の映畫が映寫されてゐるところだつた。綠色の羅紗張の扉を一寸押してそれを覗くと、久彦は觀覧席へは入らずに、がらんとして人氣のない廣い廊下を、喫煙室へと歩いていつた。そこにも人影は見えなかつたので、彼は暢々とした氣になりながら、大口の太い柱に凭れかゝつて、エヤ、シップを喫ひはじめた。

と、彼の凭れてゐる柱に遮られて見えなかつた喫煙室の奥の方から、人氣のないのに氣を許した嬌聲の男女であらうか、やゝひそめてはゐるつもりらしいけれども、久彦の耳にまで屆く聲で、罵り合つてゐる言葉が聞えて來た。

「……馬鹿！餓いてゐるんだな、やつぱり！」

これは男の聲である。

「……ヘッ！今更ねえ！餓けるくらゐなら何もあなたの浮氣な惡戯のお手傳ひなんか……」

少し嗄れた女の聲だ。

「……シッ！もつと靜かに喋つてくれ！で、後のところも……」

「……御安心なさいよ！でも、わたしも存外頼りになる女でせう？ホヽ」

「……褒美はたんまりといふのだらう？色氣より慾氣といふ奴だな、はゝ」

久彦は、其氣もなしに盜み聽きをしてしまつたが、やがて室から出て來た男女の姿をチラと見ると、忽ち彼は顔色を變へてしまつた……。

滿日文藝

滿日俳壇　島田青峰選

衣更

○ 大連 伊東凳水
衣更へて再び立ちし鏡かな
袖垣の若葉す朝や衣更
綠蔭に鳥鳴いて居り衣更
揮柳芽太くなりぬ衣更
垣外は祭の人や衣更

○ 大連 山川鳴泉
衣更へて囀りの戸を開きけり
衣更へて明るき町を歩きけり
アカシヤの風嬉しさよ衣更
衣更へて出ればすぐ來る俥かな

○ 大連 日野女鳥
カーテンの白きが涼し衣更
更へて着し衣の肩の輕さかな

○ 哈爾賓 山崎星崖
靄天の垂れて風なし更衣
ほぐれ初む芭蕉の玉や更衣

○ 煙臺 天江雨江
衣更へて大姿見に立ちにけり
窓押せば柳絮飛び居り更衣

○ 大連 高木春蕗
輕やかに街行く人や更衣
雨後の晴れ一様に衣更へにけり

○ 哈爾賓 玉川靜波
カーテンに漏るゝ日影や衣更
水盤に落つ花びらや衣更

○ 大連 和田鳥峰
衣更へて崩さぬ膝や朝の膳

○ 大連 阿部天潮
衣更へて座せる机の金魚玉

七月川柳課題

七月五日締切 「波、浪」 中沼若蛙選
七月十日締切 「暗號」 篠田醉醬選
七月十五日締切 「扇風機」 高橋月南選

◇用紙はがき必ず別記のこと
滿日文藝係

滿日俳壇 募集規定

次回課題「夕立」「扇」「夏雜詠」▲句無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切七月七日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投稿先、東京市牛込區若松町六二、島田青峰宛

大阪商船出帆

● 門司神戸（大阪行）午前十時出帆
香港丸 七月二日
あめりか丸 七月五日
はるぴん丸 七月八日
うらる丸 七月十一日

● 上海福州基隆高雄行 後三時出帆
長沙丸 七月八日
福建丸 七月十九日
盛京丸 七月廿九日

● 朝鮮經由長崎鹿兒島行
開東丸 七月廿三日

● 北米シヤトル、タコマ行（上海神戸四日市横濱經由）
ありぞな丸 七月八日

● 紐育行（神戸四日市横濱經由）船客お斷り
はぶな丸 七月十七日

● 歐洲行（上海香港新嘉坡經由）船客お斷り
あるたい丸 七月二日

● 天津行
河南丸 七月六日
武昌丸 七月十三日
貴州丸 七月廿日

● 横濱直行（後三時出帆）
貴州丸 七月四日
河南丸 七月十一日
武昌丸 七月十八日

大阪商船株式會社大連支店 電話四一三七番
專屬船客案内所 滿洲旅館協會 信濃町遼東ホテル内 電四一三一番
乘船切符發賣所 大連市伊勢町 ジャパンツーリストビューロー
大連案内所 電五五五四番
專屬荷客扱店（大連市山縣通）國際運輸株式會社大連支店 電話三一五一番
大山通り列符發賣所 電七〇三四番
沙河口切符發賣所 東來洋行内 電話九五〇六番
二ホーム荷扱所 電話四八〇二番

大連汽船出帆

● 青島、上海行
奉天丸 七月三日前十一時
榊丸 七月六日前十一時
大連丸 七月九日前十一時

● 天津行
天津丸 七月三日後五時
長平丸 七月五日後六時
天津丸 七月六日後四時

● 登州府、龍口行
龍平丸 七月三日後六時

● 安東行
天潮丸 七月十一日後六時

● 香港廣東行
一東洋丸 七月八日
備天津丸 七月十五日

● 名古屋行
東嶺丸 七月八日

● 營口行
長順丸 七月四日

● 阪神行營口出帆
長順丸 七月六日入港 七月九日出帆

大連汽船株式會社 電話番號代表四一八五番
專屬荷扱店（大連敷島町）永和公司 電話七一七五・七八六八番
阪神航路專屬荷扱店（大連須磨町）澤山兄弟商會 電話長五二六五・四六八一

日清汽船出帆

● 青島、上海行午前九時出帆
唐山丸 七月
華山丸 七月四日
代理店 大阪商船株式會社大連支店 電話四一三七番
專屬荷客取扱店（大連市山縣通）國際運輸株式會社 電話三一五一番

阿波共同汽船

● 芝罘、威海衛、青島行
第十六共同丸 七月七日後七時

● 青島行
第廿一共同丸 七月四日後七時

● 芝罘、威海衛、仁川行
第廿六共同丸 七月八日後七時

● 鎭南浦行
長山丸

滿鐵とは貨物運絡取扱致候
大連市山縣通二〇〇番地
阿波國共同汽船會社大連支店
電長六八九一・五〇〇一番

社船大連出帆

● 鹿兒島長崎行
南都丸

● 日本海行
千壽丸 七月八日

● 青島大阪行
富士丸

大連市山縣通一二九 栃木商事株式會社大連出張所 電話七四一八番

日本郵船出帆

● 歐洲行
敦賀丸 七月廿一日漢堡行
對馬丸 八月廿五日漢堡行
だあばん丸 七月三日孟買行
でらごあ丸 八月三日孟買行

● 紐育行
高岡丸 七月三日

島谷汽船大連出帆

● 南鮮裏日本各港函館小樽行
鮮海丸 七月九日
大成丸 八月四日

● 寄港地鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、萩、境、宮津、舞鶴、新舞鶴、敦賀、伏木、函館、小樽

● 南鮮裏日本北海道樺太行
長成丸 七月廿四日

● 寄港地 鎭南浦、仁川、釜山、舞鶴、敦賀、伏木、新潟、函館、小樽、大泊

● 各等客室設備あり
島谷汽船株式會社大連出張所 大連市山縣通一五三
代理店 大三商會 電長四七一一・三四八一・六二三

近海郵船大連出帆

● 長崎、神戸、大阪、横濱行
淡路丸 七月十一日
相模丸 八月一日

● 横濱行
相模丸 七月四日
勝浦丸 七月廿日
支武丸 七月廿五日

● 天津、牛莊行
淡路丸 七月四日
勝浦丸 七月十三日
支武丸 七月十八日
相模丸 七月廿五日

● 基隆、高雄行
第二蓬老丸 七月三日

高橋汽船大連出帆

● 大連芝罘間命令定期船
芝罘行
福壽丸 七月三日午後六時

● 大連龍口安東縣命令定期船
龍口登州府行
海壽丸 七月四日午後六時

代理店 大連加賀町三〇 鹿玉軒記 電六一一七・三八五一

朝鮮郵船大連出帆

● 青島、仁川行
倉寧丸 七月四日

● 仁川、長崎、鹿兒島行
羅南丸 七月十日

朝鮮鐵道各主要驛及本社各寄港地へ貨物受證發行
右汽船出帆日時は天候其他の都合により變更する事有之候
水路圖誌（海圖）販賣所
キューナード汽船會社 船客業務代理店
近海郵船株式會社大連代理店
朝鮮郵船株式會社大連代理店
日本郵船株式會社大連出張所 大連市山縣通電話三七三九・七六四六番
專屬荷客取扱店 監部通（吉野町）丸二商會 電話四二四六・五八八八番

政記輪船出帆

永利號 七月二日芝罘行
英利號 七月二日油泰行
廻安號 七月二日安東行
有利號 七月二日龍口行
純利號 七月四日上海行
中華號 七月六日秦皇島行
廣利號 七月七日威海行

政記輪船股份有限公司 電話四一四一番